Pioneer sound.vision.soul

DVD プレーヤー

DV-800AV

DVD AUDIO/VIDEO　COMPACT disc SUPER VIDEO　COMPACT disc DIGITAL VIDEO　COMPACT disc DIGITAL AUDIO

HDMI

DVD ビデオのリージョン番号

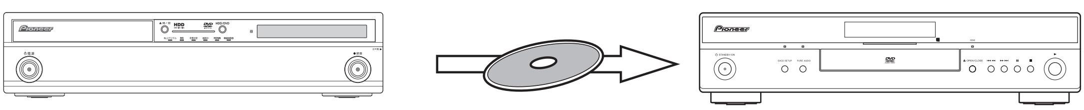
DVD プレーヤーとDVD ビデオディスクには発売地域ごとにリージョンNo.(地域番号)が設けられています。海外で購入したDVD ビデオディスクは、リージョンNo.の違いにより再生できない場合があります。本機のリージョンNo.は「2」です。

再生できるDVD ビデオディスクのリージョン表示の例: 2 ALL 1 2 4 など

DVDレコーダーをお持ちのお客様へ

ファイナライズしてから再生してください

DVDレコーダー　　　　本機



DVD-R/-RWディスク

※DVDレコーダーで記録したDVD-R/-RWディスクを本機で再生するときは、
ファイナライズ (録画終了処理) してください。

インターネットによる登録のお願い

http://www.pioneer.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。
上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

RW COMPATIBLE

取扱説明書

安全上のご注意

・安全にお使いいただくために、必ずお守りください。

・ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意(警告を含む)しなければならない内容であることを示しています。

図の中に具体的な注意内容 (左図の場合は感電注意) が描かれています。

⃠記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。

図に具体的な禁止内容 (左図の場合は分解禁止) が描かれています。

●記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。

図の中に具体的な指示内容 (左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く) が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重い物を載せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物を載せてしまうことがあります。

放熱をよくするため他の機器、壁等から間隔をとり、またラックに入れる時はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あおむけや横倒し、逆さまにする。
- 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
- じゅうたんやふとんの上に置く。
- テーブルクロスなどをかける。

着脱式の電源コード(インレットタイプ)が付属している場合のご注意：

付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

使用環境

この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

風呂場、シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

表示された電源電圧（交流 100 ボルト、50 Hz/60 Hz)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物をおかないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意

設置

電源プラグは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。(取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。)

電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

本機の上にテレビやオーディオ機器を載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは 2 人以上で行ってください。

窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

ディスクを使用する機器の場合、ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。ディスクは機器内で高速回転しますので、飛び散ってけがの原因となることがあります。

レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまないでください。レーザー光が目に当たると視力障害を起こすことがあります。

長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、壊れたりしてけがの原因になることがあります。

お子様がカセットテープ、ディスク挿入口に、手を入れないようにご注意ください。けがの原因になることがあります。

旅行などで長期間、ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池

指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

電池を機器内に挿入する場合、極性表示（プラス（＋）マイナス (ー）の向き）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

電池は加熱したり分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検

5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

目次

準備する

再生できるディスクの種類

- 本機はNTSC(日本のテレビ方式)に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをお使いください。
- 下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

DVDオーディオ　DVDビデオ　DVD-R　DVD-RW

CD　ビデオCD　CD-R　CD-RW

スーパーオーディオCD(SACD)

フジカラーCD

コダックピクチャーCD

- DVD は DVD フォーマットロゴライセンシング (株) の商標です。
- は富士フイルム (株式会社) の商標です。

コピーコントロール CD について

当製品は音楽CD規格に準拠して設計されています。CD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

再生できないディスクの種類

DVD-ROM、DVD-RAM、CD-G、リージョンが「2(または 2 を含む)」「ALL」以外の DVD ビデオなど

DVD レコーダーなどで記録したディスクについて

- ビデオモードまたは VR モードで記録されたファイナライズ済の DVD-R/-RW/-R DL(デュアル・レイヤーディスク) を再生できます。
- DVD+R、DVD+RW、DVD+R DL(ダブル・レイヤーディスク) を再生できます。

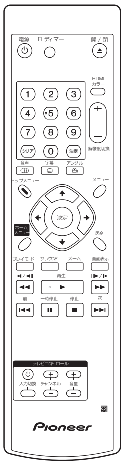
本文中の表記について

本文中に記載されている記号には、下記のような意味があります。

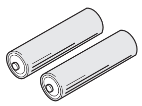
DVDビデオ	• 市販の DVD ビデオ • ビデオモードで記録されているファイナライズ済の DVD-R/-RW/-R DL、および DVD+R/+RW/+R DL
DVDオーディオ	市販の DVD オーディオ
DVD VR	VRモードで記録されているDVD-R/-RW/-R DL
ビデオCD	ビデオ CD
SACD	市販のスーパーオーディオ CD(SACD)
CD(R/RW)	• 市販の音楽 CD • CD-DAフォーマットで音楽が記録されている CD-R/-RW/-ROM
JPEG	CD-R/-RW/-ROM に記録されている JPEG ファイル
DivX®	CD-R/-RW/-ROM に記録されている DivX ビデオファイル
WMV	CD-R/-RW/-ROM に記録されている WMV ファイル
WMA	CD-R/-RW/-ROM に記録されている WMA ファイル
MP3	CD-R/-RW/-ROM に記録されている MP3 ファイル
MPEG-4 AAC	CD-R/-RW/-ROM に記録されている MPEG-4 AAC ファイル

付属品の確認

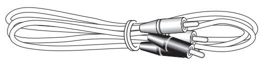
リモコン



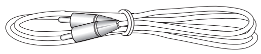
単 3 形乾電池 (R6P) × 2



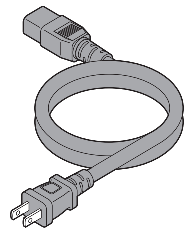
オーディオコード



ビデオコード

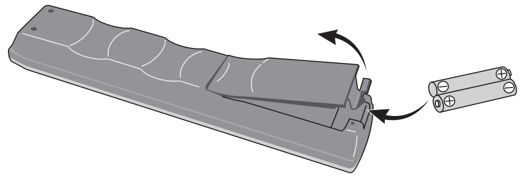


電源コード



- 保証書
- 取扱説明書 (本書)

リモコンに電池を入れる



1　タブを押しながらフタを開く

2　ケース内に表記されている極性 ⊕(プラス)/⊖(マイナス) を合わせて、乾電池を正しく入れる

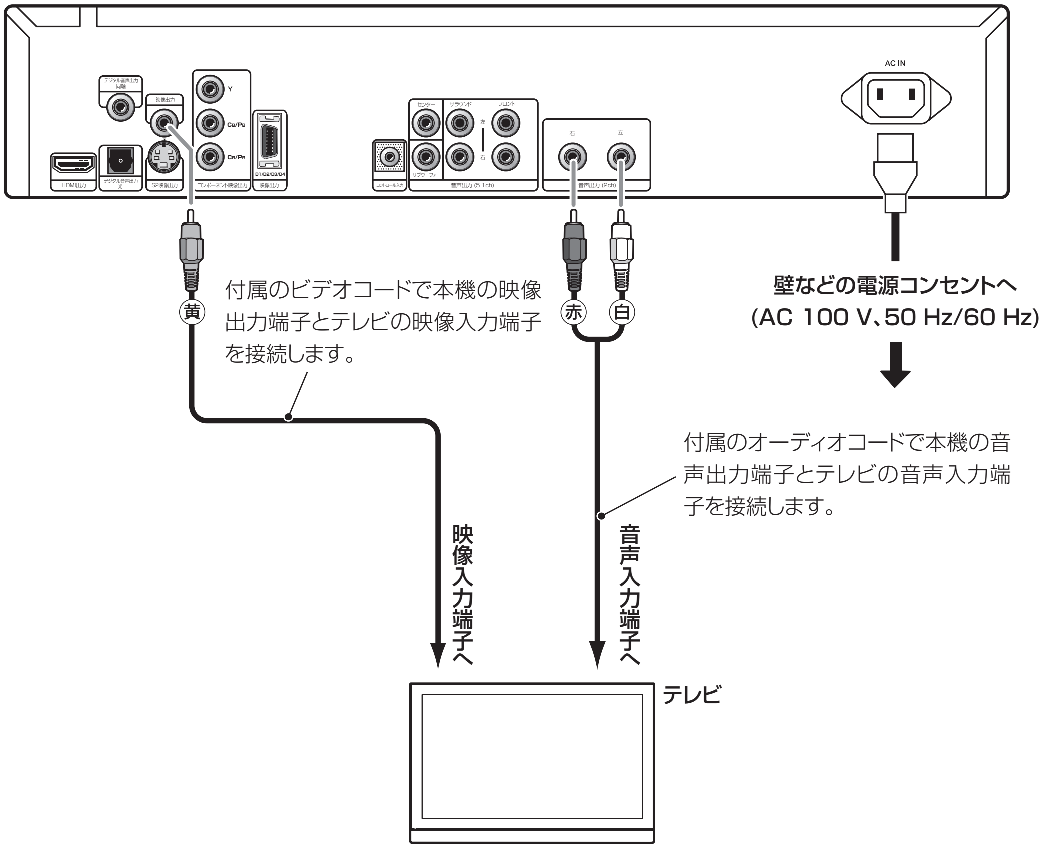
3　フタを閉める

注意

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池は同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間 (1 カ月以上) リモコンを使用しないときは、電池の液もれを防ぐため、乾電池を取り出してください。もし、液もれを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示 (条例) に従って処理してください。
- **警告：**
  電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液もれ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

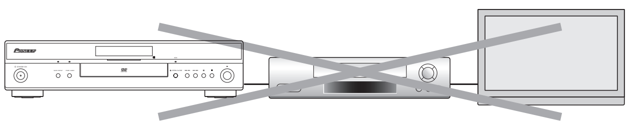
テレビに接続する

機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。



注意

・**本機の映像出力は、直接テレビに接続してください。** 本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、ビデオデッキを通してテレビに接続したり、ビデオデッキで録画して再生すると、正常な再生ができないことがあります。また、本機をビデオ内蔵テレビに接続すると、コピーガードによって正常な再生ができないことがあります。詳しくはお使いのテレビメーカーにお問い合わせください。



Q&A

Q1: 5.1 チャンネルサラウンドサウンドを楽しみたい！どんな接続をしたらいいですか？

- **P.29** をご覧ください。

Q2: S 映像端子、コンポーネント映像端子、D 映像端子、モノラル音声入力端子に接続できますか？

- できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.30-32** をご覧ください。

Q3: HDMI 端子に接続できますか？

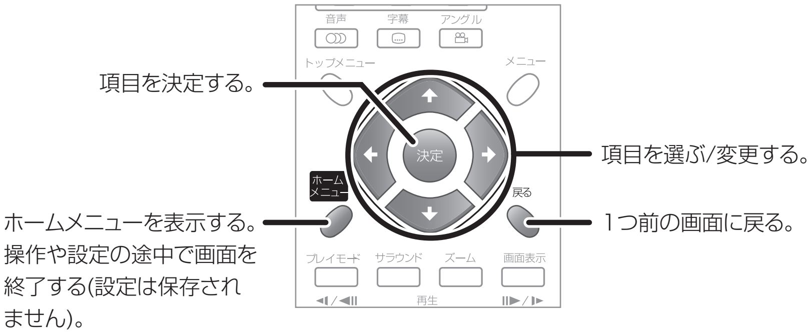
- できます。別売りの専用ケーブルが必要です。**P.33** をご覧ください。

設定画面の操作のしかた

本機では、いろいろな場面でテレビに表示される設定画面を使用します。

1　⬆/⬇/⬅/➡ ボタンで項目を選択 / 変更する

2　決定ボタンで項目を決定する



スタートアップナビゲーターを使って設定する

本機をお使いになる際に必要な最低限の設定を行います。

1　⏻ 電源ボタンを押して電源をオンにする

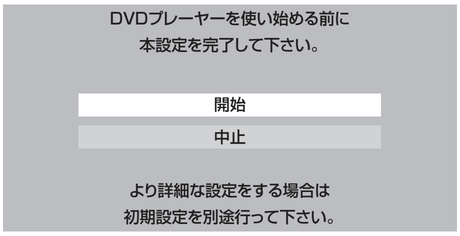
2　テレビの電源をオンにして、入力を切り換える

- 詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビコントロールを設定しているときは本機のリモコンで操作できます (**P.10**)。

3　⬆/⬇ ボタンで言語を選んで決定する



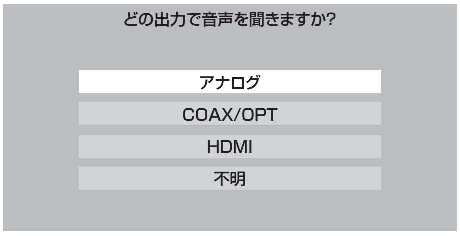
4　⬆/⬇ ボタンで [開始] を選んで決定する



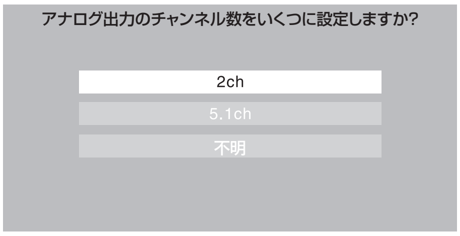
- スタートアップナビゲーターで設定しないときは、[**中止**] を選びます。

5　⬆/⬇ ボタンで音声を出力する端子を選んで決定する

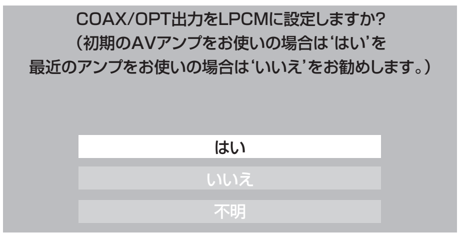
- [**アナログ**] を選んだときは手順 **5** に進みます。
- [**COAX/OPT**] を選んだときは手順 **6** に進みます。
- [**HDMI**] または [**不明**] を選んだときは手順 **7** に進みます。



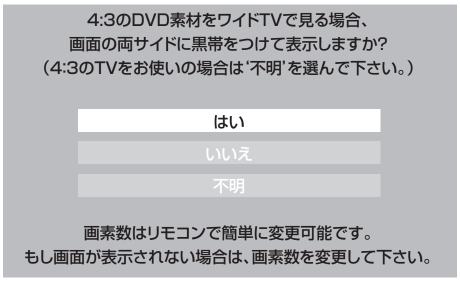
6　⬆/⬇ ボタンでアナログ音声を音声出力端子 (2ch)、または音声出力端子 (5.1ch) のどちらから出力するかを選ぶ



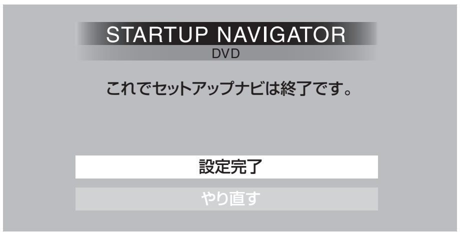
7　⬆/⬇ ボタンでデジタル音声をリニア PCM に変換して出力する (はい)/ しない (いいえ) を選んで決定する



8 ⬆/⬇ ボタンで4:3で収録されているDVDを再生したときにテレビ画面の両端に黒い帯を付けて表示する(はい)/しない(いいえ)を選んで決定する



9 [設定完了]を選んで決定する



メモ

- 本機の操作(本体、またはリモコンで)を約5分間行わないとテレビ画面にスクリーンセーバーが表示されます。
- スタートアップナビゲーターを表示中は、**⏏ 開/閉ボタン**、**⬆/⬇/⬅/➡ ボタン**、**決定ボタン**、および**戻るボタン**以外のボタンは操作できません。

本機のリモコンでテレビを操作する

お使いのテレビメーカーコードを本機のリモコンに設定すると、本機のリモコンでお使いのテレビを操作できます。

1 2桁のメーカーコードを入力する

- **クリアボタン**を押しながら**数字(0～9)ボタン**を押して入力します。
- コードを間違えて入力したときは初めから設定し直してください。
- 1つのメーカーに複数のメーカーコードがあるときは、操作できるまで順に設定してください。

2 テレビを操作できるか確認する

メモ

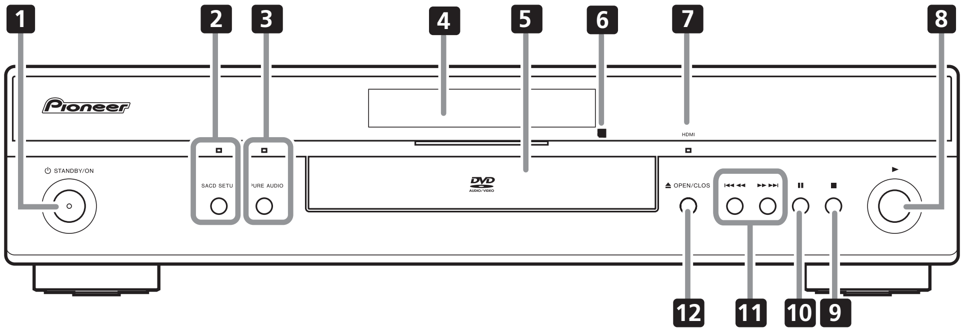
- メーカーコード表にあるメーカーのテレビでも、機種によっては操作できないことがあります。
- 電池を交換すると、お買い上げ時の設定に戻ることがあります。このときは設定し直してください。

メーカーコード表

メーカー	コード
パイオニア	00, 35, 40, 44
アイワ	38
フナイ	36
Goldstar	10, 23
日立	06, 24, 25, 32
三菱	09
NEC	37
Panasonic	08, 22, 41
Philips	07
RCA	01, 15, 16, 17, 18
サムスン	73, 75
サンヨー	14, 21
シャープ	02, 19, 27
ソニー	04
東芝	05, 26, 31, 43
ビクター	13, 33, 42

各部のなまえ

本体前面部



1 ⏻ STANDBY/ON**(P.16,17)**
電源をオン / オフにします。電源をオンにすると、インジケーターが点灯します。また、本体前面部中央のインジケーターも点灯します。

2 SACD SETUP
停止中に SACD の再生エリアを 2ch エリア、マルチ ch エリア、または CD エリアに切り換えられます。SACD がセットされていて、[SACD 再生]**(P.38)** が [2ch エリア] または [マルチ ch エリア] に設定されているときにインジケーターが点灯します。

3 PURE AUDIO
- 停止中にピュアオーディオ機能のオン / オフを切り換えられます。オンのときにインジケーターが点灯します。
- ピュアオーディオ機能は純粋なアナログ音声を聞くための機能です。映像出力 (HDMI 出力含む) とデジタル音声出力端子からの出力を遮断します。また、本体表示窓も消灯します。
- ピュアオーディオ機能は [Pure Audio ボタン]**(P.38)** が [有効] に設定されているときのみ有効です。

4 本体表示窓 (P.13)

5 ディスクテーブル (P.16)

6 リモコン受光部
- 約 7 m 以内の距離からここにリモコンを向けて操作します。
- 本機を蛍光灯の近くに設置するとリモコンの操作を受けにくくなることがあります。このようなときは、蛍光灯から離れた場所に設置してください。

7 HDMI
HDMI 出力端子に接続した機器を認識しているときに点灯します。

8 ►**(P.16)**
再生を始めます。

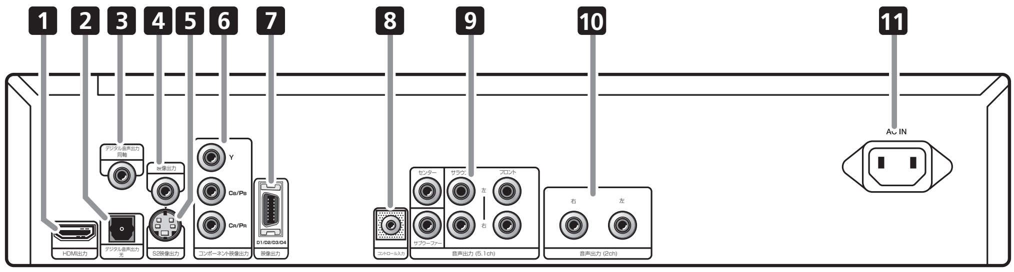
9 ■**(P.16)**
再生を停止します。

10 ❚❚**(P.16)**
再生を一時停止します。再度押すと通常の再生に戻ります。

11 ⏮ ◀◀/▶▶ ⏭**(P.19)**
早送り / 早戻し、またはチャプター / トラックを頭出しします。

12 ⏏ OPEN/CLOSE**(P.16)**
ディスクテーブルを開閉します。電源がオフのときに押すと電源がオンになり、ディスクテーブルが開きます。

本体背面部



1 HDMI 出力端子 (P.33)
HDMI 対応テレビまたは AV アンプなどと接続します。

2 光デジタル音声出力端子 (P.29,31)
AV アンプなどの光デジタル音声入力端子と接続します。

3 同軸デジタル音声出力端子 (P.31)
AV アンプなどの同軸デジタル音声入力端子と接続します。

4 映像出力端子 (P.8,29)
テレビ、または AV アンプなどの映像入力端子と接続します。

5 S2 映像出力端子 (P.32)
テレビ、または AV アンプなどの S 映像入力端子と接続します。

6 コンポーネント映像出力端子 (P.32)
テレビ、または AV アンプなどのコンポーネント映像入力端子と接続します。

7 D1/D2/D3/D4 映像出力端子 (P.32)
テレビ、または AV アンプなどの D1/D2/D3/D4 映像入力端子と接続します。

8 コントロール入力端子
SR マーク付きのパイオニア製 AV アンプなどのコントロール出力端子と市販のミニプラグ付きケーブル (抵抗なし、3.5 φ) を使って接続すると、AV アンプなどのリモコンで本機を操作できます。詳しくは AV アンプなどの取扱説明書をご覧ください。

メモ

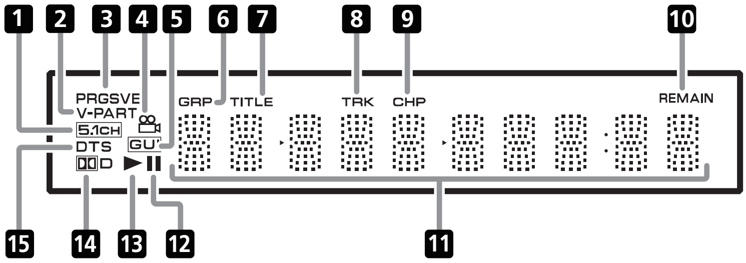
- システムコントロール接続するときは、市販のミニプラグ付きケーブル以外にアナログオーディオケーブル、またはビデオケーブルのいずれかを必ず接続してください。
- システムコントロール接続したときは、接続した機器 (AV アンプなど) にリモコンを向けて操作してください。本機にリモコンを向けて操作することはできません。
- コントロール端子のない機器やパイオニア以外の製品とシステムコントロール接続することはできません。

9 音声出力 (5.1ch) 端子 (P.30)
AV アンプなどのマルチチャンネル (5.1ch) 音声入力端子と接続します。

10 音声出力 (2ch) 端子 (P.8,29,31)
テレビ、または AV アンプなどの音声入力端子と接続します。

11 AC IN(P.8,29,30)
電源コードを接続します。

本体表示窓



1 5.1CH
[**音声出力モード**] **(P.39)** が [5.1 **チャンネル**] に設定されているときに点灯します。

2 V-PART
DVD ビデオ、または DVD オーディオを再生中に映像信号がある場面で点灯します。

3 PRGSVE **(P.32)**
コンポーネント映像出力端子、および D1/D2/D3/D4 映像出力端子から映像が 720p/480p で出力されているときに点灯します。

4 🎥 **(P.25)**
アングルを変更できる場面で点灯します (DVD ビデオのみ)。

5 GUI
初期設定画面、設定画面、またはディスク情報などを表示しているときに点灯します。

6 GRP
グループ番号が表示されているときに点灯します。

7 TITLE
タイトル番号が表示されているときに点灯します。

8 TRK
トラック番号が表示されているときに点灯します。

9 CHP
チャプター番号が表示されているときに点灯します。

10 REMAIN
再生中のタイトル、チャプター、またはトラックの残り時間が表示されているときに点灯します。

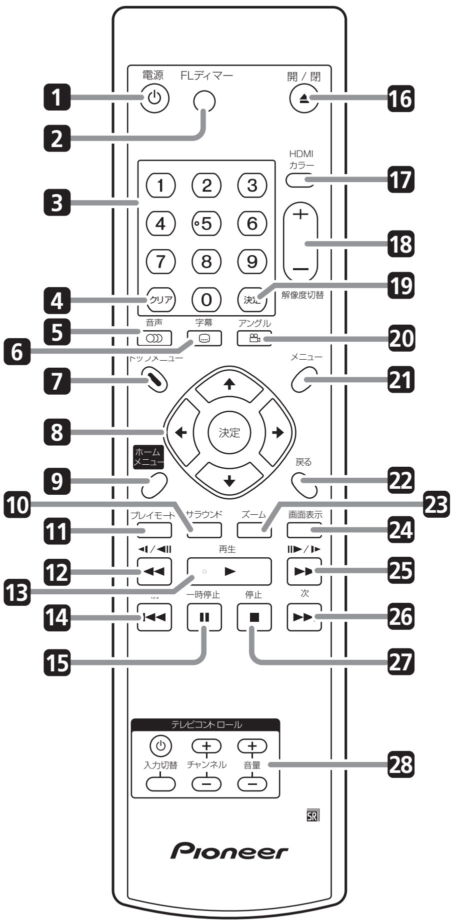
11 カウンター表示
いろいろな情報を表示します。

12 ❚❚
一時停止しているときに点灯します。

13 ▶
再生しているときに点灯します。

14 ◘◘D
ドルビーデジタル音声を選んでいるときに点灯します。

15 DTS
DTS 音声を選んでいるときに点灯します。



1 ⏻ 電源 (P.16,17)
電源をオン / オフにします。

2 FL ディマー
本体表示窓の明るさを調節します。押すたびに明るさが切り換わります。

3 数字 (0 ～ 9) ボタン (P.10,19)
タイトル、チャプター、グループ、またはトラック番号を指定して再生するとき、またはメニューで項目を選択するときなどに使います。

4 クリア
プログラム再生で設定した内容を取り消します。

5 音声 (P.26)
音声を切り換えます。

6 字幕 (P.27)
字幕を切り換えます。

7 トップメニュー
DVD ビデオ、または DVD オーディオの最上層のメニューを表示します。

8 ⬆/⬇/⬅/➡
項目を選択 / 変更します。

決定
選択 / 変更した項目を実行します。

9 ホームメニュー
ホームメニューを表示 / 終了します。また、各種操作 / 設定画面を途中で終了します。

10 サラウンド (P.27)
バーチャルサラウンド (立体音場) 機能のオン / オフを切り換えます。

11 プレイモード (P.20-22)
プレイモード画面を表示します。ホームメニューからもプレイモード画面を表示できます (**P.21**)。

12 ◀◀/◀I/◀II (P.19)
再生中に押すと早戻しします。一時停止中に押すと逆方向にコマ戻し再生します。押し続けると逆方向にスロー再生します。

13 ▶ (P.16)
再生を始めます。電源がオフのときは電源がオンになり、再生を始めます。

14 I◀◀ (P.19)
再生中のチャプター / トラックの先頭に戻ります。

15 II (P.16)
再生を一時停止します。再度押すと通常の再生に戻ります。

16 ⏏ 開 / 閉 (P.16)
ディスクテーブルを開閉します。

17 HDMI カラー (P.36)
[HDMI カラー] の設定を切り換えます。

18 解像度切換＋ / － (P.17)
HDMI 出力端子、またはコンポーネント映像出力端子から出力される映像の解像度を切り換えます。

19 決定
選択 / 変更した項目を実行します。

20 アングル (P.25)
DVD ビデオのアングルを切り換えます。

21 メニュー
DVD ビデオでは、メニューを表示します。DVD VR、ビデオ CD、DivX ビデオ、WMV、WMA、MP3、MPEG-A AAC、および JPEG では、ディスクナビゲーターを表示します (メニューを表示するディスク、またはファイルもあります)。

22 戻る
1 つ前の画面に戻ります。

23 ズーム (P.25)
映像を拡大します。

24 画面表示（P.25）
ディスクの情報を表示します。

25 ►►/I►/II►（P.19）
再生中に早送りします。一時停止中に押すとコマ送り再生します。押し続けるとスロー再生します。

26 ►►I（P.19）
次のチャプター / トラックの先頭に進みます。

27 ■（P.16）
再生を停止します。

28 テレビコントロール（P.10）
お使いのテレビを本機のリモコンで操作できます。

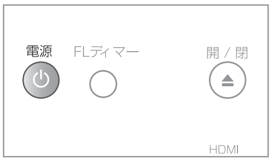
- ⏻：テレビの電源をオン / オフにします。
- **入力切換**：テレビの入力を切り換えます。
- **チャンネル（＋ / −）**：テレビのチャンネルを切り換えます。
- **音量（＋ / −）**：テレビの音量を調節します。

03 再生する

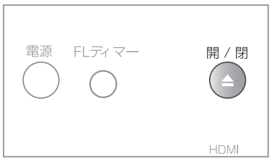
ディスクを再生する

あらかじめテレビの電源を入れ、テレビの入力を切り換えておいてください。詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

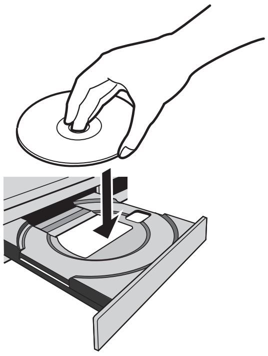
1 ⏻ 電源ボタンを押して電源をオンにする



2 ディスクテーブルを開閉してディスクをセットする



・印刷面を上にしてディスクをセットしてください。



3 ► ボタンを押して再生を開始する



・一時停止するには再生中に **II ボタン**を押します。

・停止するには再生中に **■ ボタン**を押します。

メモ

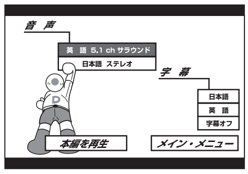
・ディスクテーブルを閉めると自動的に再生を始める DVD もあります。

・再生、一時停止、および 停止の操作は、本体前面部のボタンでも操作できます。

メニュー画面が表示されたら

再生を始めると最初にメニュー画面を表示するディスクがあります (メニュー画面の内容や操作方法はディスクによって異なります)。ビデオ CD のメニューの操作方法については **P.26** をご覧ください。

● ⬆/⬇/⬅/➡ ボタンまたは数字 (0 ～ 9) ボタンで選択して、決定ボタンを押す。



メモ

・画面の上下に黒い帯が付く DVD があります。本機の故障ではありません。

止めたところから再生する (リジューム再生)

■ ボタンを押してディスクを停止するとその場所を記憶するので、次回は続きから再生を開始します (リジューム機能)。また、ディスクを取り出しても DVD は 5 枚、ビデオ CD は 1 枚分の停止した場所を記憶しています (ラストメモリー機能)。次回、そのディスクを入れると、取り出す前に停止した場所から再生を始めます。停止中に **■ ボタン**をもう一回押すと、リジューム機能またはラストメモリー機能が解除され、次に再生するときはディスクの最初から開始します。

メモ

・DVD ビデオ、ビデオ CD、CD(-R/-RW)、DivX ビデオ、または WMV を停止すると、本体表示窓に **'RESUME'** と表示され、停止した場所を記憶します。DVD オーディオ、および SACD では、リジューム機能が働きません。

・ラストメモリー機能は DVD ビデオ、およびビデオ CD にのみ働きます。

・リジューム、またはラストメモリー機能が働かない DVD ビデオもあります。

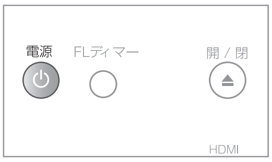
・ラストメモリー機能では、別のディスクを記憶すると前のディスクのメモリーが消去されます。

・ラストメモリーを記憶させたくない場合は、**■ ボタン**を押さずに **⏏ 開/閉ボタン**でディスクを停止して、取り出してください。

電源をオフにする

電源をオフにする前にディスクを取り出してください。

● ⏻ 電源ボタンを押して電源をオフにする
本体前面部の ⏻ STANDBY/ON ボタンでもできます。



メモ

・電源コードをコンセントから抜くときは、本体表示窓の **'-OFF-'** が消えていることを確認してください。**'-OFF-'** が表示されているときに抜くと本機の設定が工場出荷時の状態に戻ることがあります。

解像度を切り換える

HDMI 出力端子、コンポーネント映像出力端子、および D1/D2/D3/D4映像出力端子から出力される映像の解像度を切り換えます。



● 解像度切換ボタンを押す
・押すたびに解像度が切り換わります。
・コンポーネント映像出力端子、または D1/D2/D3/D4 映像出力端子から出力される映像は、再生するディスクやファイルの種類によって**解像度切換ボタン**で設定した解像度で出力されないことがあります。詳しくは下記の表をご覧ください。

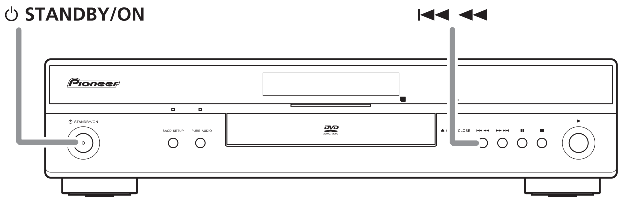
	画素数 (最大) の設定				
	480i	**480p**	**1080i**	**720p**	**1080p**
DVD ビデオ	480i	480p	480p	480p	480p
DVD オーディオ	480i	480p	480p	480p	480p
• DivX ビデオ • WMV	480i	480p	1080i	720p	480p
JPEG	480i	480p	1080i	720p	480p
• 音楽 CD • SACD	480i	480p	480p	480p	480p
• MP3 • WMA • MPEG-4 AAC	480i	480p	1080i	720p	480p
ビデオ CD	480i	480p	480p	480p	480p

メモ

・アナログ映像を 1080i、または 720p で出力すると、設定画面 (ディスクナビなど) が粗く表示されます。これは故障ではありません。

[画素数 (最大)] の設定をお買い上げ時の設定に戻す

● 解像度切換ボタンを押して解像度を [720x480i] に戻す
本機とテレビなどを HDMI ケーブルを使って接続していないときは、電源がオフのときに本体前面部の **⏮ ◀◀ ボタン**を押しながら ⏻ **STANDBY/ON ボタン**を押しても戻せます(本機とテレビなどをHDMI ケーブルを使って接続しているときは [720x480p] に設定されます)。



本機とプログレッシブ、およびハイビジョン対応テレビの互換性について

現在一部のプログレッシブ、およびハイビジョン対応テレビは本機と完全な互換性が取れていないため、画像に乱れが生じる場合があります。1080i/720p/480p 映像を再生時に不具合が生じた場合は本機の出力解像度を [720x480i] に切り換えてください。また、当社のプログレッシブ、およびハイビジョン対応テレビと本機との互換性についてご質問のある場合は、当社のカスタマーサポートセンターへお問い合わせください (**P.63**)。

Q1: 映像が映らない。

- ビデオコードが正しく接続されているか確認してください (**P.8,29**)。
- テレビの入力を本機を接続した入力に合わせてください。
- HDMI 出力端子から映像が出力されないときは、HDMI ケーブルが正しく接続されているか確認してください (**P.33**)。
- コンポーネント映像出力端子、または D1/D2/D3/D4 映像出力端子から映像が出力されないときは、各映像ケーブルが正しく接続されているか確認してください (**P.32**)。
- ピュアオーディオ機能がオンのときは映像が映りません。本体前面部の PURE AUDIO インジケーターが点灯しているときは、停止中に **PURE AUDIO ボタン**を押してピュアオーディオ機能をオフにしてください (インジケーターが消灯します)。

Q2: リモコンで操作できない。

- 本体背面部のコントロール入力端子に AV アンプなどを接続しているときは AV アンプなどのリモコンで操作してください (**P.12**)。
- 約 7 m の範囲内で操作してください。
- 本体前面部のリモコン受光部に向けて操作してください。
- 本機を蛍光灯の近くに設置しているときは、蛍光灯から離れた場所に設置してください (**P.11**)。

Q3: ディスクテーブルを閉めても出てきてしまったり、再生ができない。

- ディスクテーブルにディスクが正しくセットされているか確認してください。
- ディスクが汚れているときはディスクをクリーニングしてください。
- リージョン No. が一致しているか確認してください。本機で再生できるリージョン No. は **「2(または 2 を含む)」**と**「ALL」**です (**P.53,56**)。
- 本機の内部が結露している可能性があります。結露を除去してください (**P.58**)。

Q4: ビデオ CD、または CD(-R/-RW) が再生できない。

- パソコンで作成されたビデオ CD/CD(-R/-RW) は再生できないことがあります。

Q5: WMA、MP3、MPEG-4 AAC ファイルが再生できない。

- DRM コピープロテクト※のかかった WMA/MPEG-4 AAC ファイルは再生できません。
- ISO9660 フォーマットに準拠していないディスク記録されているときは再生できません。
- サンプリング周波数が 32 kHz、44.1 kHz、または 48 kHz で記録されていない WMA ファイルは再生できません。
- 可変ビットレート(VBR)またはロスレスエンコーディングのWMA/MP3/MPEG-4 AAC ファイルは再生できません。

Q6: JPEG ファイルが再生できない。

- ISO9660 フォーマットに準拠していないディスクに記録されているときは再生できません。
- 総ピクセル数が 3072x2048 ピクセル以上のベースライン JPEG ファイルは再生できません。
- プログレッシブJPEGファイルは再生できません。

Q7: DivX ビデオ、または WMV が再生できない。

- DviX ビデオ /WMV ファイルの再生以外には対応していません。お手持ちのメディアのエンコード方式等をご確認ください。
- 拡張子「.avi」、または「.divx」が付いているファイルのみ再生できます。ただし、「.avi」が付いていても DivX ビデオファイルでないことがありますのでご注意ください。
- 本機は Wndows Media ® Player 9 Series でエンコードされた WMV9 ファイルにのみ対応しています。拡張子「.wmv」が付いているファイルのみ再生できます。
- 720 x 480 ピクセルより解像度が大きいファイルは再生できません。
- DRM コピープロテクト※のかかった WMV ファイルは再生できません。

Q8: 電源が自動的に切れてしまう

- ディスクを再生していないときに約 30 分間、本体またはリモコンの操作を行わないと、電源が自動的にスタンバイ状態になります (オートパワーオフ機能)。
- 接続しているテレビの電源をオフにすると連動して本機の電源がオフになることがあります。テレビと連動して本機の電源をオフにしたくないときは **[HDMI コントロール]** を **[オフ]** に設定してください (**P.38**)。

※ DRM (Digital Rights Management) コピープロテクトは著作権保護のための技術で、違法な複製を防止するため録音時に使用した PC などの機器以外での再生を制限する機能です。詳しくは、録音に使用した機器・アプリケーションの取扱説明書やヘルプなどをご覧ください。

早送り / 早戻し再生

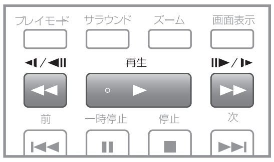
DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR ビデオCD SACD CD(R/RW) WMA MP3 MPEG-4 AAC DivX® WMV



● **再生中に ►► (または ◄◄) ボタンを押す**
- 押すたびに速さを 4 段階に切り換えられます (DivX ビデオ、およびWMVは速さを切り換えられません)。
- 通常の再生に戻すには ► **ボタン**を押します。

コマ送り / コマ戻し再生

DVDビデオ DVD VR ビデオCD DivX® WMV



● **一時停止中に II►/I► (または ◄I/◄II) ボタンを押す**
- コマ送り / コマ戻し再生中は音声が出力されません。
- 再生方向を変更したとき、一瞬映像が動くことがあります。
- コマ戻し再生中に映像が揺れることがあります。
- コマ送り / コマ戻し再生ができないディスクがあります。
- ビデオ CD、DivX ビデオ、および WMV は、コマ戻し再生ができません。
- 通常の再生に戻すには ► **ボタン**を押します。

スロー再生

DVDビデオ DVD VR ビデオCD DivX® WMV



● **一時停止中に II►/I► (または ◄I/◄II) ボタンを押し続ける**
- テレビ画面にスローの表示が出たら、手を離してもスロー再生を続けます。
- スロー再生中 II►/I► (または ◄I/◄II) **ボタン**を押すたびに速さを 4 段階に切り換えられます。
- スロー再生中は音声が出力されません。
- スロー再生ができないディスクがあります。
- ビデオ CD、DivX ビデオ、および WMV は、逆方向のスロー再生ができません。

- 通常の再生に戻すには ► **ボタン**を押します。

頭出し (スキップ)

DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR ビデオCD SACD CD(R/RW) WMA MP3 MPEG-4 AAC DivX® WMV



● **再生中に ►►I (または I◄◄) ボタンを押す**
- 押した数だけチャプター / トラックをスキップします。
- ビデオ CD の PBC 再生中 (**P.26**) は、ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。

ダイレクトサーチ

DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR ビデオCD SACD CD(R/RW)



● **数字 (0 〜 9) ボタンでタイトル / チャプター / グループ / トラック番号を入力して、決定ボタンを押す**

ダイレクトサーチの種類

	DVD ビデオ	DVD VR	DVD オーディオ	ビデオ CD SACD CD
再生中	チャプター サーチ	タイトル サーチ	トラック サーチ	トラック サーチ
停止中	タイトル サーチ	タイトル サーチ	グループ サーチ	トラック サーチ

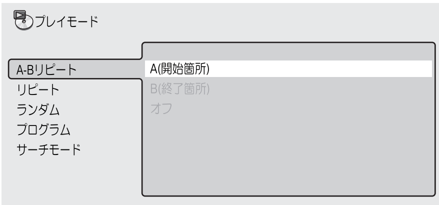
- 番号を入力してから 2 秒以上経過すると自動で再生を開始します。
- DVD ビデオのチャプターサーチでは、再生中のタイトル内のチャプターのみ指定できます。
- ダイレクトサーチができないディスクがあります。

指定した部分を繰り返し再生する (A-B リピート)

DVDビデオ DVD VR ビデオCD CD(R/RW)

1 再生中にプレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[A-B リピート] を選択する

2 [A(開始箇所)] を選択して、開始したい箇所で決定ボタンを押す



3 [B(終了箇所)] を選択して、終了したい箇所で決定ボタンを押す

- A-B リピート再生を開始します。
- 解除するときは **[オフ]** を選択します。

メモ

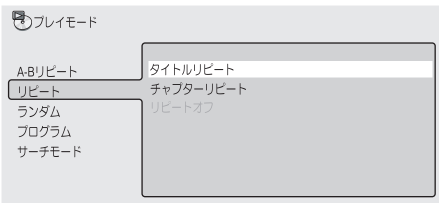
- ビデオ CD の PBC 再生中は、プレイモード画面を表示できません。PBC 再生を解除してから表示してください (**P.26**)。
- 異なるタイトルをまたいで A-B リピート再生をすることはできません。
- A-B リピート再生ができないディスクもあります。

繰り返し再生する (リピート)

DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR ビデオCD SACD CD(R/RW) DivX® WMV

1 再生中にプレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[リピート] を選択する

2 リピート再生の種類を選び、決定ボタンを押す



例:DVDビデオのリピート画面

- リピート再生を開始します。
- リピート再生の種類は、再生しているディスクによって異なります。
- 解除するときは **[リピートオフ]** を選択します。

リピート再生の種類

タイトルリピート	タイトルを繰り返し再生します。
チャプターリピート	再生中のタイトル内のチャプターを繰り返し再生します。
グループリピート	グループを繰り返し再生します。
ディスクリピート	再生中のディスクを繰り返し再生します。
トラックリピート	再生中のトラックを繰り返し再生します。
プログラムリピート	プログラム再生を繰り返します。

メモ

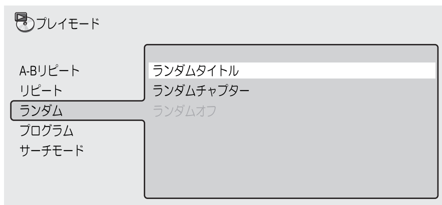
- ビデオ CD の PBC 再生中は、プレイモード画面を表示できません。PBC 再生を解除してから表示してください (**P.26**)。
- ディスクを停止するとリピート再生は解除されます。
- リピート再生ができないディスクもあります。

順不同に再生する (ランダム)

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SACD CD(R/RW)

1 プレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[ランダム] を選択する

2 ランダム再生の種類を選び、決定ボタンを押す



例:DVDビデオのランダム画面

- 次のタイトルなどからランダム再生を開始します。
- ランダム再生の種類は、再生しているディスクによって異なります (**P.21**)。
- 解除するときは、**[ランダムオフ]** を選択します。

ランダム再生の種類

ランダムタイトル	タイトルを順不同に再生します。
ランダムチャプター	再生中のタイトル内のチャプターを順不同に再生します。
ランダムグループ	グループを順不同に再生します。
ランダムトラック	再生中のグループ内のトラックを順不同に再生します。
ランダムオール(ランダムオン)	ディスク内のトラックを順不同に再生します。

メモ

- ビデオ CD の PBC 再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC 再生を解除してから表示してください (**P.26**)。
- ディスクを停止する、または [**ランダムオフ**] を選択するまでランダム再生を続けます。
- ランダム再生ができないディスクもあります。
- ランダム再生とプログラム再生を同時に行うことはできません。
- ランダム再生中に ►►I **ボタン**を押すと、順不同に次のタイトルなどを選択して再生します。また、I◄◄ **ボタン**を押すと、現在再生中のタイトルなどの始めに戻り再生します。
- 現在再生中のタイトルなどより前のタイトルなどに戻ることはできません。
- 毎回ランダムに選択するため、同じタイトルなどを何度も再生する場合があります。

ホームメニューからプレイモード画面を表示する

1 ホームメニューボタンを押してホームメニューを表示する

2 [プレイモード] を選んで決定する



メモ

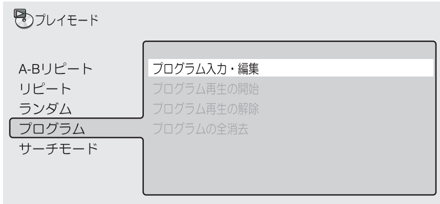
- ビデオ CD の PBC 再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC 再生を解除してから表示してください (**P.26**)。

好みの順に再生する (プログラム)

DVDビデオ DVDオーディオ ビデオCD SACD CD(R/RW)

1 プレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[プログラム] を選択する

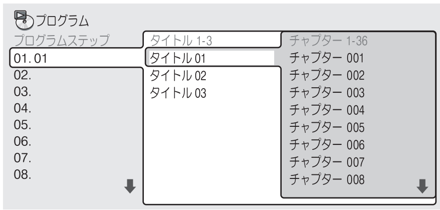
2 [プログラム入力・編集] を選択して、決定ボタンを押す



例:DVDビデオのプログラム画面

- [**プログラム入力・編集**] 画面はディスクによって異なります。

3 プログラムしたいタイトル / チャプター/ グループ / トラックを選択して、決定ボタンを押す



- プログラム入力中に**戻るボタン**を押すと、プログラムした内容が無効になります。

4 3 を繰り返して、他のタイトルなどを入力する

ステップの間にプログラムを追加する

1 プログラムステップの追加したい箇所にカーソルを合わせる。

2 追加するタイトルなどを選択して**決定ボタン**を押す。

- 追加した箇所にあったタイトルなどは、新しいプログラムの後ろに移動します。

入力中にプログラムを削除する

1 削除したいプログラムステップにカーソルを合わせる。

2 **クリアボタン**を押す。

- プログラムが削除され、その後ろにあったタイトルなどが 1 つ前に繰り上がります。

5 ► ボタンを押す

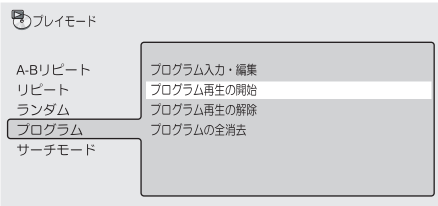
- プログラムした順に再生を開始します。

メモ

- ビデオ CD の PBC 再生中は、プレイモード画面を表示できません。PBC 再生を解除してから表示してください (**P.26**)。
- 一時停止をプログラムすることはできません。

- タイトルなどが変わるときに、プログラムしていないタイトルなどの映像が見えることがあります。これは故障ではありません。
- プログラム再生をリピートする (繰り返す) ことができます。プログラム再生中にプレイモード画面の **[リピート]** から **[プログラムリピート]** を選択します (**P.20**)。
- プログラム再生をランダム (順不同に) 再生することはできません。
- プログラム再生中に **▶▶I ボタン**を押すと、次のプログラムステップのタイトルなど等を再生します。

プログラム再生を開始 / 解除 / 全消去する



- **プログラム再生の開始**
  すでにプログラムされている内容を始めから再生します。
- **プログラム再生の解除**
  通常の再生に戻ります。プログラムされている内容はそのまま残ります。
- **プログラムの全消去**
  プログラムされている内容をすべて消去します。

見たい場面を探す (サーチモード)

DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR ビデオCD SACD CD(R/RW) DivX® WMV

1　再生中にプレイモードボタンを押してプレイモード画面を表示させ、[サーチモード] を選択する

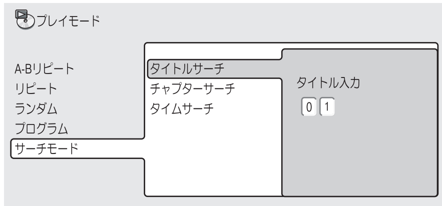
2　サーチモードの種類を選び、決定ボタンを押す

- サーチモードの種類は、再生しているディスクによって異なります。

サーチモードの種類

タイトルサーチ	停止中にタイトル番号を指定します。
チャプターサーチ	再生中にチャプター番号を指定します。
トラックサーチ	トラック番号を指定します。
タイムサーチ	ビデオ CD、または CD(-R/-RW) では、再生中のトラック内の時間を、 DVD ビデオ、DivX ビデオ、または WMV では再生中のタイトル内の時間を指定して再生します。

3　数字 (0 ～ 9) ボタンで再生したいタイトル / チャプター / グループ / トラックまたは時間を入力して、決定ボタンを押す



- 指定したタイトル、チャプター、グループ、トラック、または時間から再生を開始します。

タイムサーチを選択したとき

- 21 分 43 秒を再生するには、**2、1、4、3** を押して、決定ボタンを押します。
- 1 時間 4 分 (64 分 00 秒) を再生するには、**6、4、0、0** を押して、**決定ボタン**を押します。

メモ

- DVD オーディオには、静止画が収録されているディスクがあります（**P.56**)。静止画の種類によって、静止画の番号 (ページ) を指定してサーチすることができます。
- ビデオ CD の PBC 再生中は、プレイモード画面を表示することができません。PBC 再生を解除してから表示してください (**P.26**)。
- DVD ビデオでは、ディスクメニューで見たい場面を探す（ サーチする ）ことができるディスクがあります。このときは、リモコンの**メニューボタン**でディスクメニューを表示させてサーチしてください (**P.16**)。
- DVD オーディオ、および SACD では、タイムサーチができません。
- DivX ビデオ、および WMV では、タイムサーチのみ選択できます。

ディスクナビゲーターを使って再生する

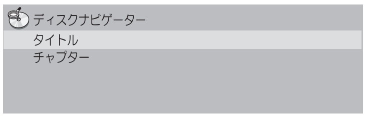
DVDビデオ DVD VR ビデオCD を再生する

1　再生中にホームメニューボタンを押してホームメニューを表示する

2　[ディスクナビゲーター] を選択して、決定ボタンを押す



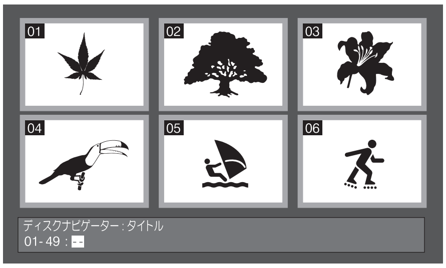
3　⬆/⬇ ボタンで種類を選択して、決定ボタンを押す



DVD ビデオ	DVD VR		ビデオ CD
	オリジナル	プレイリスト	
• タイトル • チャプター	• タイトル • 時間	• タイトル • 時間	• トラック • 時間

- ディスクによって表示内容が異なります。
- [時間]を選択すると、10分おきの画像を表示します。

4　先頭の画面が6枚ずつ表示されるので、再生したいタイトルなどを探す



- ►►I **ボタン**を押すと、次の 6 枚に切り換わります (I◄◄ **ボタン**で戻ります)。
- **ホームメニューボタン**を押すと、ディスクナビゲーターが終了します。
- **戻るボタン**を押すと、ディスクナビゲーターの種類を選択する画面に戻ります。

5　数字 (0 ～ 9) ボタンで番号を入力して決定ボタンを押す

- 番号にカーソルを合わせて**決定ボタン**を押しても再生することができます。

メモ

- ビデオ CD の PBC 再生中はディスクナビゲーターを表示できません。PBC 再生を解除してください (**P.26**)。
- DVD レコーダーで録画して作られたタイトルを「オリジナル」、「オリジナル」をもとに編集用に作成したタイトルを「プレイリスト」といいます。
- プレイリストが作成されていないときは、**[プレイリスト]** は選択できません。
- 一部の DVD ビデオでは、ディスクナビゲーターが使用できない場合があります。

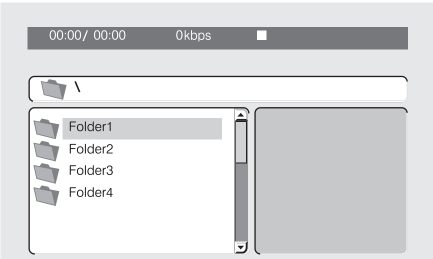
WMA MP3 MPEG-4 AAC JPEG DivX® WMV を再生する

1　ホームメニューボタンを押してホームメニューを表示する

2　[ディスクナビゲーター] を選択して、決定ボタンを押す

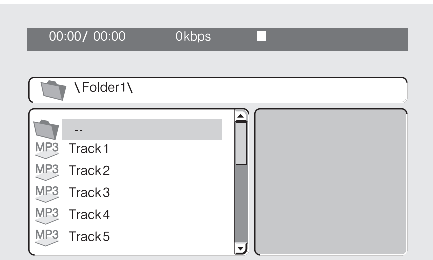


3　⬆/⬇ ボタンでフォルダーを選択して、決定ボタンを押す

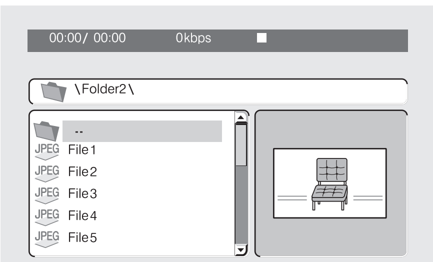


- 半角英数字以外の文字には対応していません。半角英数字以外で入力されたフォルダー/トラック/ファイル名は文字化けしたり、[F_001]/[T_001]/[FL_001] のように表示されることがあります。

4　⬆/⬇ ボタンで再生したいトラック / ファイルを選択する



例:MP3ファイルのディスクナビゲーター



例:JPEGファイルのディスクナビゲーター

- JPEG でファイルにカーソルを合わせると、選択されているファイルの画像が表示されます。
- ⬅ **ボタン**を押すと、前の画面に戻ります。

5　決定ボタンを押す

- 選択したトラック / ファイルから再生を開始します。
- JPEG では、画像が次々に表示されます (スライドショー)。
- スライドショーで表示される画像のアスペクト比が異なるときは、画像の縦、または横に黒帯が出ることがあります。
- **ホームメニューボタンを**押すと、ディスクナビゲーター画面が終了します。

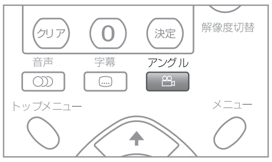
メモ

- WMA、MP3、MPEG-4 AAC、DivX ビデオ、WMV、および JPEG ファイルでは、ディスク情報の読み込み中に、テレビ画面に **' 読込中 '** と表示されます。表示が消えてから再生してください。
- [--] を選択して**決定ボタン**を押しても、上の階層に戻すことができます。
- ディスクナビゲーターを使うと、フォルダーごとの再生となります。フォルダーをまたいで再生したいときは、ディスクをセットしたあとに ▶ **ボタン**を押して再生を開始してください。
- JPEG と WMA/MP3 が混在するディスクを再生する場合、先に WMA（または MP3）を選択してから JPEG ファイルを選択すると、JPEG ファイルと WMA（または MP3）を同時に再生することができます。ただし、この場合はフォルダーごとの再生となります。
- フォルダーをまたいで同時再生したいときは、ディスクをセットしたあとに ▶ **ボタン**を押して再生を開始してください。

アングルを切り換える

DVDビデオ

複数のアングルが収録されている DVD ビデオでは、再生中にアングルを切り換えることができます (マルチアングル)。詳しくは **P.53,55** をご覧ください。



● **アングルボタンを押す**
- 現在のアングルと、収録されているアングルの総数が表示されます。押すたびにアングルが切り換わります。

メモ
- 複数のアングルが収録されている場所にくると、マークがテレビ画面に表示されます。マークを表示させたくないときは、初期設定の **[アングルマーク表示]** を **[オフ]** に設定します (**P.37**)。
- マークが表示されてもアングルを切り換えることができないディスクもあります。
- ディスクメニューでアングルを切り換えることができるディスクもあります (**P.16**)。

画像を回転 / 反転する

JPEG



● **⬆/⬇/⬅/➡ ボタンを押す**

➡	押すたびに画像が時計回りに 90°回転します。
⬅	押すたびに画像が反時計回りに90°回転します。
⬆	画像の上下が反転します。
⬇	画像の左右が反転します。

- 通常のスライドショーに戻すには ► **ボタン**を押します。

画像を拡大する

DVDビデオ DVD VR ビデオCD DivX® WMV JPEG

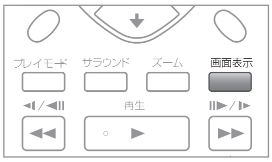


● **ズームボタンを押す**
- ズームエリア(拡大する場所)が表示されます(JPEG を除く)。**⬆/⬇/⬅/➡ ボタン**でズームエリアを移動することができます。
- 押すたびに 2 倍→ 4 倍→通常と変化します。

メモ
- JPEG では、► **ボタン**を押してスライドショーに戻すこともできます。

ディスクの情報を見る

DVDビデオ DVDオーディオ DVD VR ビデオCD SACD CD(R/RW) WMA MP3 MPEG-4 AAC DivX® WMV



● **再生中に画面表示ボタンを押す**
- ディスクの経過時間や残量などを表示します。



- ディスクによっては、**画面表示ボタン**を押すたびに表示内容が切り換わります。
- **画面表示ボタン**を数回押すと、表示がオフになります。

メモ
- ビデオ CD の PBC 再生中は一部の情報が表示されません。PBC 再生を解除してください (**P.26**)。

メニュー画面から再生する (PBC 再生)

ビデオCD

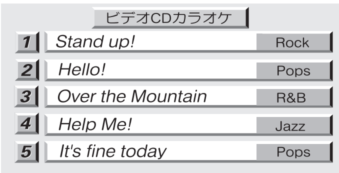
ビデオ CD では、メニュー画面に従って再生することを PBC(プレイバックコントロール) 再生といいます。ディスクによって操作方法が異なります。ディスクに添付されている操作ガイドもあわせてご覧ください。

1　PBC 再生対応ディスクを入れ、▶ ボタンを押す

・メニュー画面が表示されます。

・ディスクによって表示内容が異なります。

例



2　数字 (0 ～ 9) ボタンで再生したいトラックを選択して、決定ボタンを押す

・再生を開始します。

・再生中に**戻るボタン**を押すとメニュー画面に戻ります。

・メニュー画面のページをめくる、または戻すには、メニュー画面を表示中に **⏮/⏭ ボタン**を押す。

メニュー画面を出さずに再生する (PBC 再生を解除して再生する) には

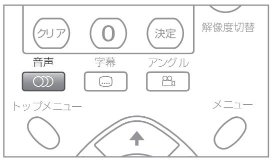
下記のいずれかの方法で再生してください。

● 停止中に、数字 (0 ～ 9) ボタンで再生するトラックを選択して、決定ボタンを押す

● 停止中に ⏮/⏭ ボタンを押す

音声を切り換える

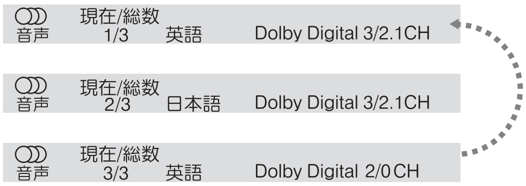
DVDビデオ　DVDオーディオ　DVD VR　ビデオCD　CD(R/RW)　DivX®



● 再生中に 音声ボタンを押す

・押すたびに音声が切り換わります。

例



・**'3/2.1CH'** はディスクに記録されている音声のチャンネル数です。詳しくは **P.57** をご覧ください。

・二カ国語で記録された DVD VR では、**[主]**、**[副]**、または **[主 / 副音声]** が切り換わります。

・ビデオ CD、または CD(-R/-RW) では、**[ステレオ]**、**[左]**、または **[右]** が切り換わります。

・DVD オーディオの再生中に **音声ボタン**で音声を切り換えると、そのトラックの始めから再生を行います。

メモ

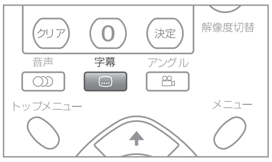
・ **音声ボタン**で音声を切り換えられない DVD ビデオがあります。DVD ビデオのメニュー画面で切り換えてください (**P.16**)。

・ディスクによっては音声を切り換えたときに映像が一瞬静止することがあります。

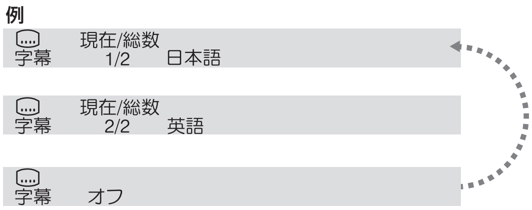
・ここで切り換えた音声の設定は、リジューム機能 (**P.16**) を解除したとき、またはラストメモリーを記憶させないでディスクを取り出したときに初期設定画面の設定 (**P.35**) に戻ります。

字幕を切り換える

DVDビデオ **DivX®**



● **再生中に字幕ボタンを押す**
- 押すたびに字幕言語が切り換わります。



- 字幕が収録されていないときは **' − / − '** が表示されます。

メモ

- DVD ビデオによっては**字幕ボタン**で字幕言語を切り換えられない場合があります。DVD のメニュー画面で切り換えてください (**P.16**)。
- ここで切り換えた字幕言語の設定は、リジューム機能 (**P.16**) を解除したとき、またはラストメモリーを記憶させないでディスクを取り出したときに初期設定画面の設定 (**P.35**) に戻ります。

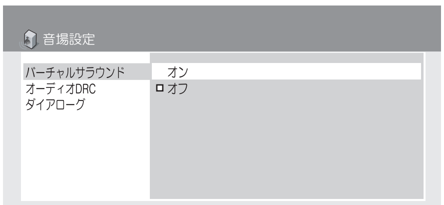
音場設定する

1　ホームメニューボタンを押してホームメニューを表示する

2　[音場設定] を選択して、決定ボタンを押す



3　⬆/⬇/⬅/➡ ボタンと決定ボタンを使って、各項目を設定する



バーチャルサラウンド	• オン • **オフ**	2 つのスピーカーで臨場感のある立体音場を再現することができます。
オーディオDRC	• 大 • 中 • 小 • **オフ**	オーディオ DRC(ダイナミックレンジコントロール) を切り換えることで、大きい音を小さく、小さい音を大きくして再生する効果があります。たとえば、深夜に映画を見るようなときに変更します。オーディオ DRC はドルビーデジタル音声にのみ働きます。
ダイアローグ	• 大 • 中 • 小 • **オフ**	映画などを DVD で見るとき、記録されたフォーマットによってはセリフの音が小さくて聴き取りにくい場合があります。そのようなときに変更します。

太字＝お買い上げ時の設定

4　ホームメニューボタンを押して、設定画面を終了する
- 新しく設定した内容が保存されます。

メモ

- すべての効果を同時に設定することができます。
- **[バーチャルサラウンド]** を設定時は、96 kHz 以上のリニア PCM 音声は 48 kHz に変換されて出力されます。
- **[バーチャルサラウンド]**、**[ダイアローグ]** はデジタル音声出力にも効果があります。ただし、デジタル音声出力がドルビーデジタル、DTS、または MPEG 音声で出力されているときは効果がありません (デジタル音声出力の設定については **P.35** をご覧ください)。
- **[バーチャルサラウンド]** は、リモコンの**サラウンドボタン**を押して、**[オン]** または **[オフ]** を選択することもできます。
- **[バーチャルサラウンド]**、**[オーディオ DRC]** の効果が少ないディスクもあります。
- **[バーチャルサラウンド]** は DVD オーディオ、および SACD には効果がありません。
- **[オーディオ DRC]** はデジタル音声出力端子 (光 / 同軸) から出力される音声にも効果があります。ただし、**[デジタル音声出力]** の **[デジタル出力]** を **[オン]** に設定して、さらに **[□□Digital 出力]** を **[□□Digital>PCM]** に設定してください (**P.35**)。
- **[オーディオ DRC]** の効果は、お使いのスピーカーやテレビ、または AV アンプの音量設定などによっても変わります。実際に設定を切り換えながら、一番効果的な設定を選択してください。
- **[音場設定]** は、HDMI 出力端子から出力される音声にも効果があります。制約事項は上記と同じです。

画質を調整する

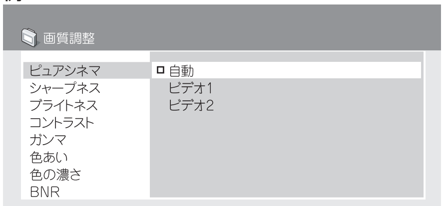
1　ホームメニューボタンを押してホームメニューを表示する

2　[画質調整] を選択して、決定ボタンを押す

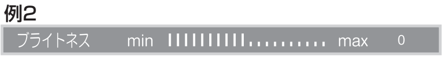


3　⬆/⬇/⬅/➡ ボタンと決定ボタンを使って、各項目を設定する

例1



例2



ピュアシネマ	• **自動** • ビデオ 1 • ビデオ 2	プログレッシブスキャン回路をDVDの再生に最適な設定にします。通常は **[自動]** に設定します。 映像が不自然に見えるときは **[ビデオ 1]**、または **[ビデオ 2]** に設定してお試しください。
シャープネス	• ファイン • **標準** • ソフト	画像の鮮明度を調整します。
ブライトネス	• － 20 ～＋ 20 お買い上げ時は**0**に設定されています。	画面の明るさを調整します。
コントラスト	• － 16 ～＋ 16 お買い上げ時は**0**に設定されています。	最も明るい部分と最も暗い部分との明るさの比率を調整します。
ガンマ	• － 3 ～＋ 3 お買い上げ時は**0**に設定されています。 •	画像の暗い部分の見えかたを強調します。
色あい	• 緑 9 ～赤 9 お買い上げ時は**0**に設定されています。	緑色と赤色のバランスを調整します。
色の濃さ	• － 9 ～＋ 9 お買い上げ時は**0**に設定されています。	色の濃さを調整します。色のりの多いアニメなどで効果があります。
BNR	オン **オフ**	映像のブロックノイズを軽減します。

太字＝お買い上げ時の設定

• 1 つ前の画面に戻るときは、**戻るボタン**を押します。

4　ホームメニューボタンを押して、設定画面を終了させる

• 新しく設定した内容が保存されます。

メモ

• 項目によって設定画面が異なります。

• ディスクやテレビ (モニター) によっては効果がはっきりしないことがあります。

• **[画質設定]** は、HDMI 出力端子から出力される映像にも効果があります。

他機器との接続

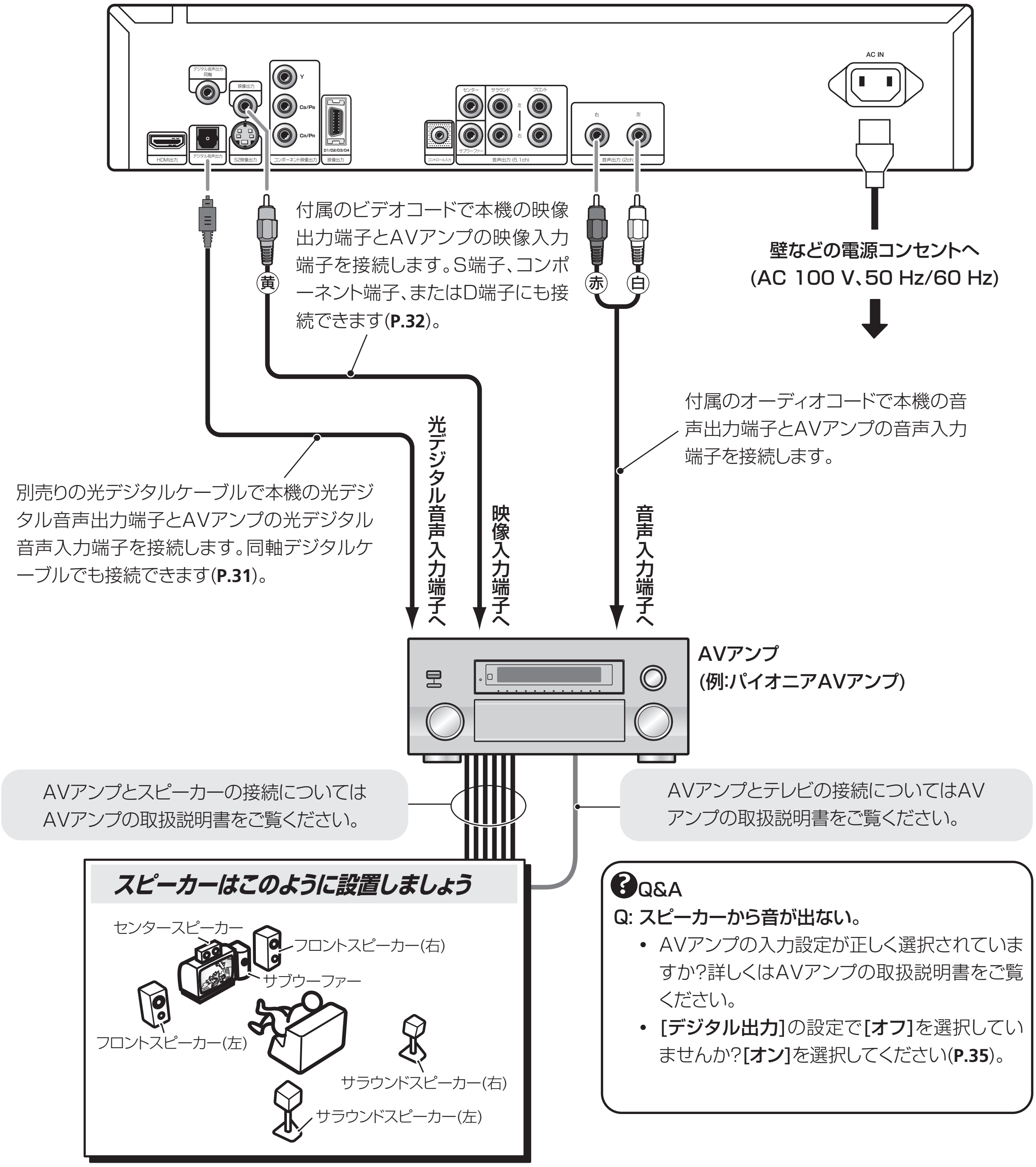
機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

5.1 チャンネルサラウンドシステムの接続

5.1ch サラウンドサウンドを楽しむためには下記の機器、ケーブル、および設定の変更が必要です。

- ドルビーデジタル /DTS などのデジタル入力に対応した AV アンプ、またはデコーダー
- 5ch スピーカー (フロント左右 / センター / サラウンド左右) +サブウーファー
- 光デジタルケーブル、または同軸デジタルケーブル
- DTS 5.1ch サラウンドを楽しむときは、[DTS 出力] を [DTS] に設定してください (**P.35**)。

DVD ビデオの 5.1ch サラウンドサウンドを楽しむための接続



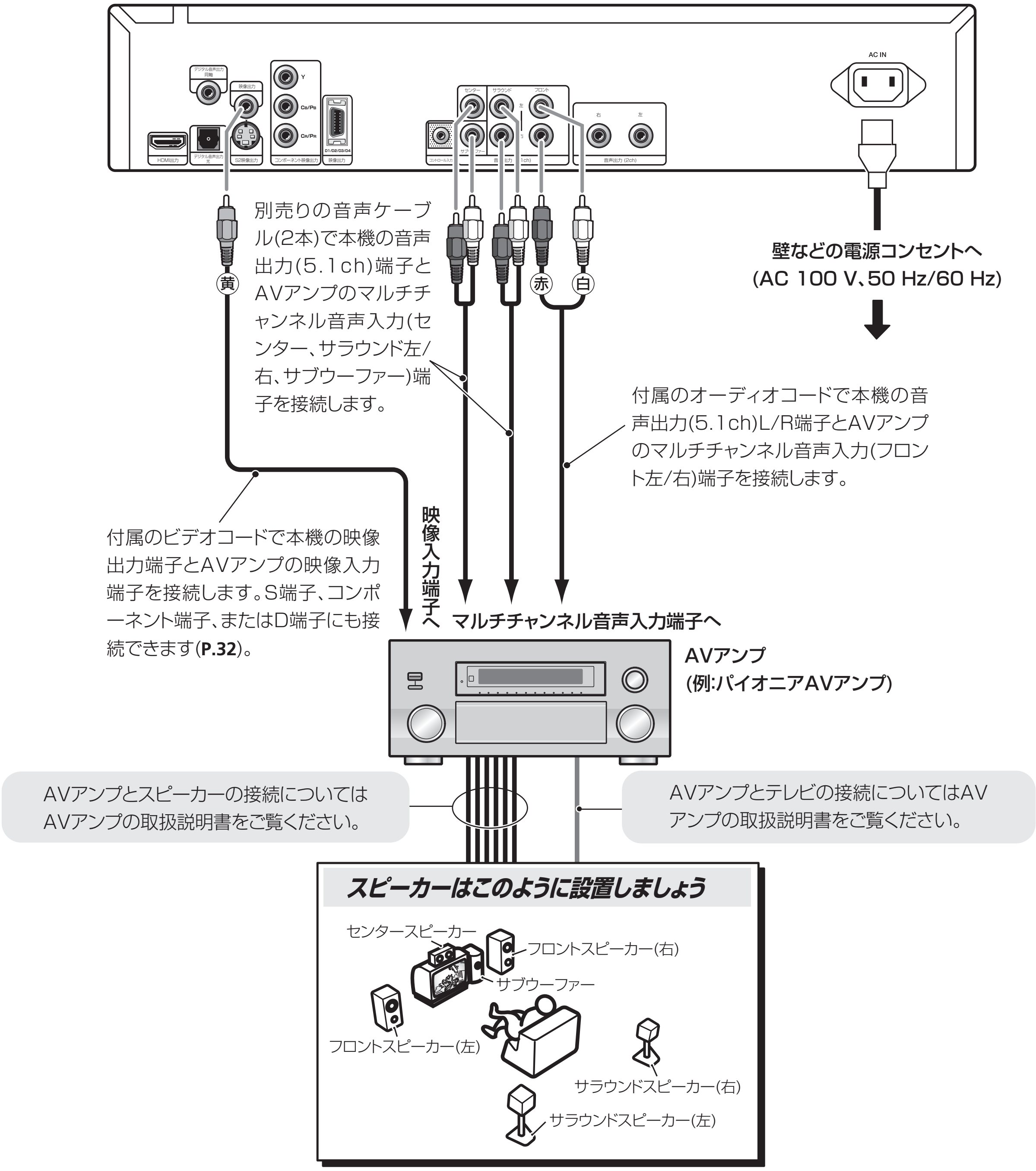
Q&A

Q: スピーカーから音が出ない。

- AVアンプの入力設定が正しく選択されていますか?詳しくはAVアンプの取扱説明書をご覧ください。
- [**デジタル出力**]の設定で[**オフ**]を選択していませんか?[**オン**]を選択してください(**P.35**)。

DVD オーディオや SACD の 5.1ch サラウンドサウンドを楽しむための接続（5.1ch アナログ音声出力端子に接続して 5.1ch サラウンドを楽しむ）

5.1ch アナログ音声出力端子を接続するときは、付属の音声ケーブル (1 本) と別売りの音声ケーブル (2 本) が必要です。また、[音声出力モード](**P.39**) を [5.1 チャンネル] に設定してください。

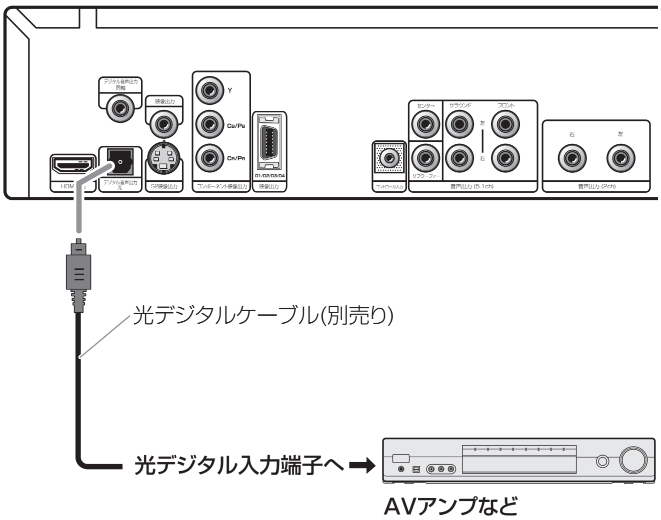


デジタル音声入力端子のある機器との接続

- デジタル音声入力端子のある AV アンプやデジタル録音対応機器 (MD、CD-R(CD レコーダー)、DAT など) とデジタル接続することができます。光デジタル端子と同軸デジタル端子に接続する 2 つの方法があります。
- 光出力端子に接続するときは、光キャップを抜いてから、端子の向きを合わせてしっかりと差し込んでください。誤った向きで無理に差し込むと、端子が変形してしまいます。
  また光キャップは大切に保管し、光出力端子に何も接続しないときは、光キャップを差し込んだ状態で本機を使用してください。

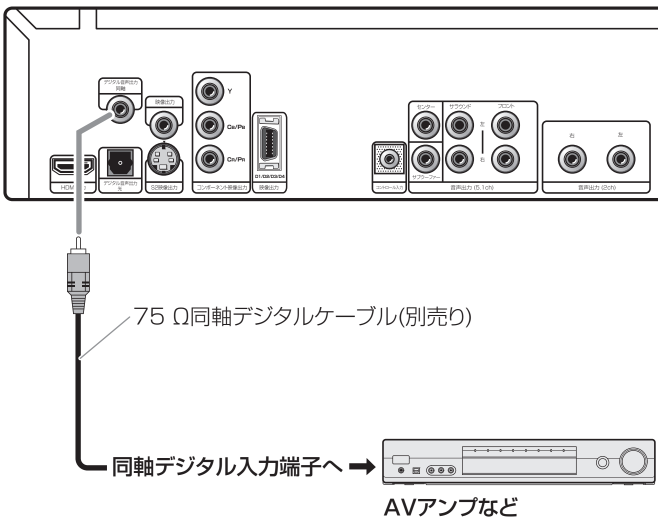
光デジタル音声入力端子のある機器と接続する

別売りの光デジタルケーブルで接続します。



同軸デジタル音声入力端子のある機器と接続する

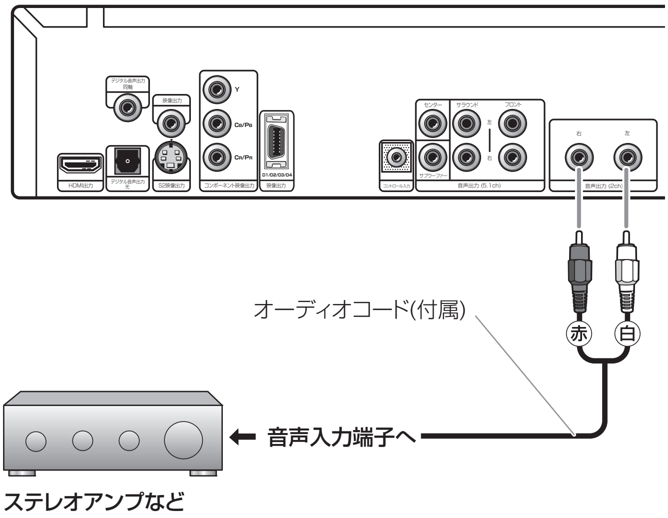
別売りの同軸デジタルケーブルで接続します。



2ch アナログ音声入力端子やモノラル音声入力端子のある機器との接続

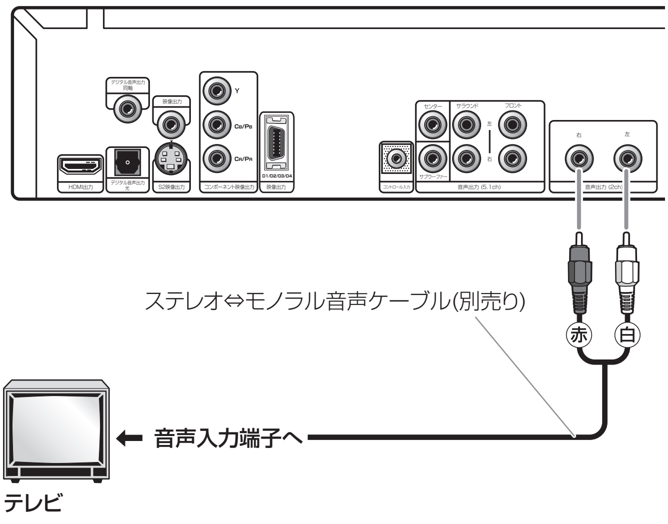
2ch アナログ音声入力端子と接続する

付属のオーディオコードで接続します。



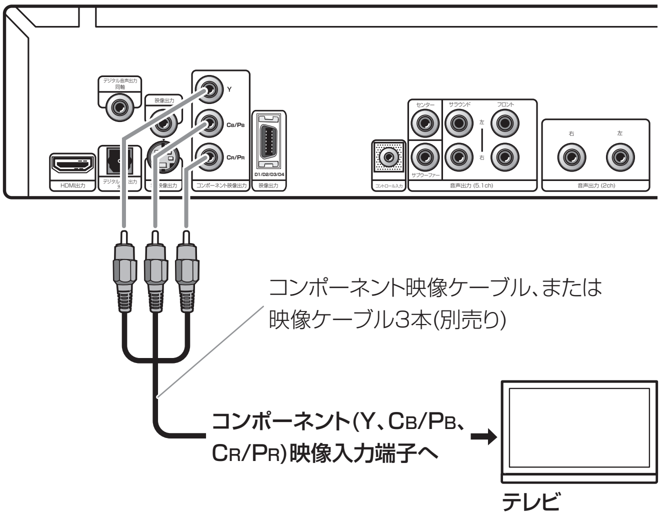
モノラル音声入力端子のあるテレビと接続する

別売りのステレオ⇔モノラル音声ケーブルで接続します。



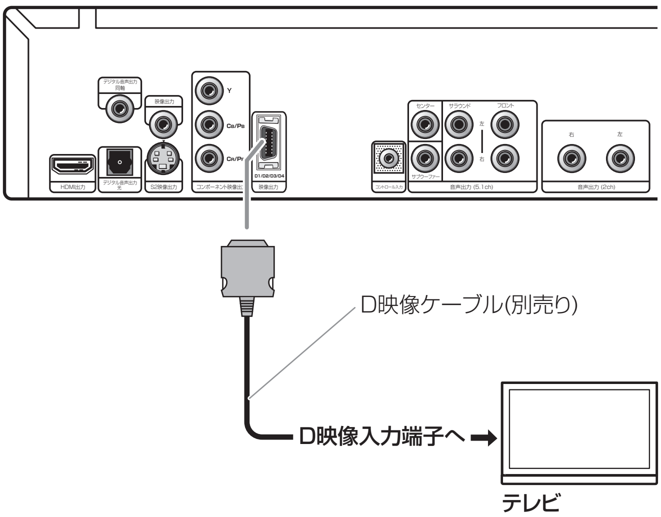
コンポーネント (Y,C_B/P_B,C_R/P_R) 映像入力端子のあるテレビと接続する

別売りのコンポーネント映像ケーブルで接続します。本機の高い映像品質を楽しむときに最も適した接続です。



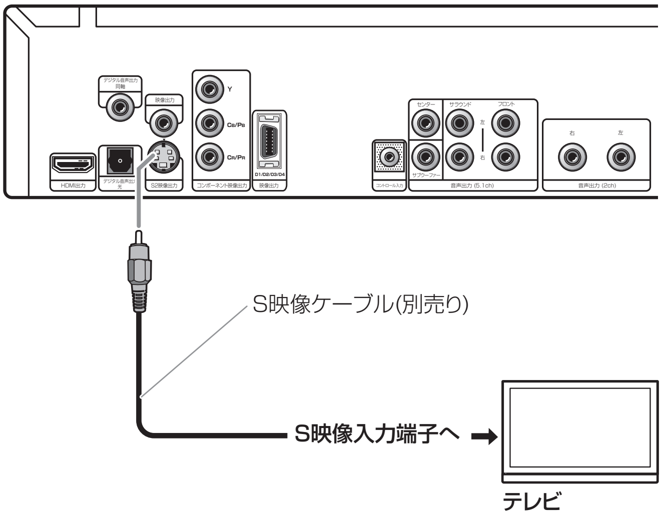
D 映像入力端子のあるテレビと接続する

別売りの D 映像ケーブルで接続します。専用ケーブル 1 本で、コンポーネント映像ケーブルを使った接続と同様の高い映像品質を楽しむことができます。本機の D1/D2/D3/D4 映像出力端子は、接続するテレビの D1、D2、D3、または D4 のいずれの入力端子にも接続することができます。ただし、D1 入力端子と接続したときは、インターレース出力のみとなります。



S 映像入力端子のあるテレビと接続する

別売りの S 映像ケーブルで接続します。付属の映像ケーブルを使った接続より、高い映像品質を楽しむことができます。本機は S2 出力に対応しています。



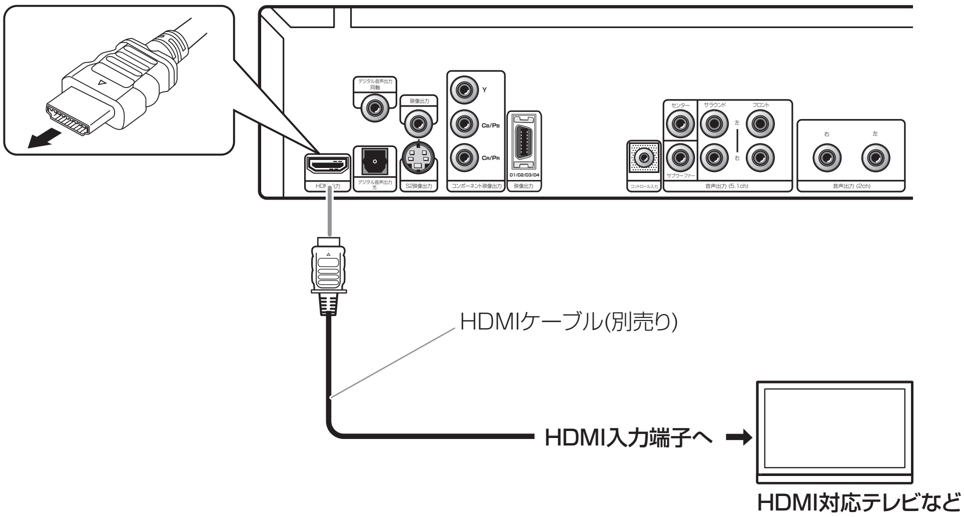
メモ

- お使いのテレビが 1080i/720p/480p などの映像に対応していないときは、コンポーネント映像出力端子、または D1/D2/D3/D4 映像出力端子からの映像が映らない、または乱れることがあります。このようなときは [**画素数 (最大)**] の設定をお買い上げ時の設定に戻してください (**P.17**)。

HDMI 入力端子のある機器と接続する

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）は、映像と音声を 1 本のケーブルで伝送できます。デジタルで伝送するため、劣化の少ない高品質な映像と音声を楽しめます。

HDMI ケーブル (別売り) を使って HDMI に対応しているテレビ、モニター、プロジェクター、または AV アンプと接続します。



メモ

- 本機は接続した HDMI 機器の性能に関わらず、手動で出力内容を設定します。詳しくは **[画素数 (最大)]**(**P.36**) を参照してください。また本機に記憶できる HDMI 機器の設定は 2 台までです。
- HDMI 機器と接続すると本体表示部に ' ※※※※ ' と解像度が表示されます。

HDMI 出力端子から出力できる映像 (解像度)/ 音声について

映像 (解像度)

- 720 × 480 ピクセルのプログレッシブ / インターレース映像
- 1280 × 720 ピクセルのプログレッシブ映像
- 1920 × 1080 ピクセルのプログレッシブ / インターレース映像

音声

- サンプリング周波数44.1 kHz～192 kHz、16 bit/ 20 bit/24 bit の 2ch リニア PCM 音声 (2ch ダウンミックスを含む)
- サンプリング周波数 44.1 kHz ～ 96 kHz、16 bit/ 20 bit/24 bit の 5.1ch リニア PCM 音声、5.1ch ビットストリーム (ドルビーデジタル、DTS、MPEG)
- SACD の 5.1ch/2ch DSD 音声

メモ

- お使いの HDMI ケーブルによっては 1080p が正しく表示されないことがあります。
- お手持ちの受像機 (HDMI 機器) が上記画素に対応していないと正しく映らない場合があります。
- 本機は HDMI 機器との接続を目的として設計されています。DVI 機器に接続した場合、DVI 機器によっては正常に動作しない場合があります。

HDMI コントロール機能について

- HDMI コントロール機能に対応しているパイオニア製のプラズマテレビなどと本機を HDMI ケーブルで接続すると、プラズマテレビなどで本機を操作できます。
- 本機の再生を始める、またはホームメニューやディスクナビなどを表示すると、プラズマテレビなどの入力が自動で切り換わります。入力が切り換わると再生画面、またはホームメニューやディスクナビがプラズマテレビに表示されます (オートセレクト機能)。このとき、オフだったプラズマテレビの電源が自動でオンすることがあります。
- プラズマテレビなどの取扱説明書もあわせてご覧ください。

HDMI コントロール機能を使うには

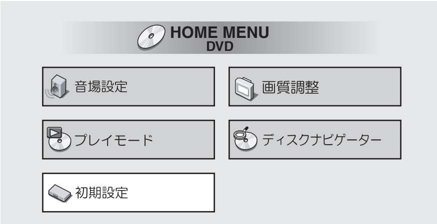
- HDMI コントロール機能は、HDMI ケーブルで接続されているすべての機器の [HDMI コントロール] を [オン] に設定しているときに働きます。
- 接続、および各機器の設定が完了したら、本機の映像がプラズマテレビに出力されているか確認してください (接続する機器を変更したり、HDMI ケーブルを差し直したときも確認してください)。
- HDMI1.3 規格 (カテゴリー 2) 以降に対応しているケーブルをお使いください。HDMI1.3 規格 (カテゴリー 2) 以降に対応していないと HDMI コントロール機能が正しく動作しないことがあります。

設定する

初期設定を変更する

1　ホームメニューボタンを押してホームメニューを表示する

2　[初期設定] を選択して、決定ボタンを押す



・ディスクの再生中に初期設定を選択することはできません。ディスクを停止してから再度選択してください。

3　⬆/⬇/⬅/➡ ボタンと決定ボタンを使って、各項目を設定する

メモ

・［HDMI 出力］および［HDMI カラー］の設定項目は、本機と HDMI 対応機器を HDMI ケーブルで接続した場合のみ設定が必要です。

・［デジタル音声出力］および［スピーカー] の設定項目は、本機と HDMI 機器を HDMI ケーブルで接続した場合は設定できません (自動で変更されます)。

・**太字**はお買い上げ時の設定です。

設定項目	設定内容	
デジタル音声出力		
HDMI 出力 • 接続した HDMI 機器への音声出力を変更する。 • 「HDMI 出力の設定と出力される音声の種類について (**P.41**)」、および「HDMI 出力端子から出力される DVD オーディオ / SACD の音声について (**P.42**)」もあわせてご覧ください。	LPCM(2CH)	接続した HDMI 機器がステレオ入力のみ受けられる場合に選択します。マルチチャンネル音声は LPCM 2ch にダウンミックスして出力されます。
	LPCM(5.1CH)	接続したHDMI機器が LPCM マルチチャンネルに対応している場合に選択します。すべての音声信号が LPCM 5.1chで出力されます。（すべてのストリームを本機でデコードしたい場合は、この設定を選択してください。）
	自動	接続した機器がドルビーデジタル、DTS、MPEG、または SACD に対応しているときはストリームを出力します。リニア PCM 音声はそのまま出力します。接続している HDMI 機器がドルビーデジタル、DTS、MPEG、または SACD に対応していないときはリニア PCM に変換して出力します。
	オフ	接続した HDMI 機器から音声を出力しないときに選択します（このときはデジタル音声出力やスピーカーの設定が有効になります）。また、［**デジタル出力**］または［**スピーカー**］の設定を変更したいときに選びます。
デジタル出力	**オン**	デジタル音声出力端子から音声を出力するときに選びます。
	オフ	デジタル音声出力端子から音声を出力しないときに選びます。
• SACD はデジタル出力しません。 • DVD オーディオはマルチチャンネル音声をダウンミックスしてデジタル出力されます (デジタル出力できないディスクもあります)。		
DDDigital 出力	**DDDigital**	ドルビーデジタル音声をそのまま出力したいときに選びます。
	DDDigital>PCM	ドルビーデジタル音声をリニアPCM音声に変換して出力したいとき、または接続している AV アンプがドルビーデジタルに対応していないときに選びます。
DTS 出力	**DTS**	DTS 音声をそのまま出力したいときに選びます。
	DTS>PCM	DTS 音声をリニア PCM 音声に変換して出力したいとき、または接続しているAVアンプがDTSに対応していないときに選びます。
• DTS に対応していない AV アンプに接続しているときに [DTS] を選ぶとノイズが発生することがあります。 • [DTS>PCM] に設定する場合、DTS マルチチャンネルのダウンミックス方法を選択することができます。		

設定項目	設定内容	
リニア PCM 出力	**ダウンサンプルオン**	96 kHz に対応していない AV アンプと接続したときに選びます。各系統の音声周波数を48 kHz/44.1 kHzに変換して出力します。
	ダウンサンプルオフ	96 kHz 対応 AV アンプ、またはデコーダーと接続したときに選びます。
• DVD オーディオの 192 kHz/176.4 kHz サンプリング音声のとき、[**ダウンサンプルオフ**] を選択していてもデジタル出力は強制的に 96 kHz/88.2 kHz にダウンサンプルされます。また、著作権保護されている場合は、自動的に 48 kHz/44.1 kHz に変換されます (96 kHz/88.2 kHz リニア PCM 音声を含む)。このような DVD は高音質のアナログ音声出力でお楽しみください。		
MPEG 出力	**MPEG**	MPEG 音声をそのまま出力したいとき、または接続している AV アンプが MPEG 対応しているときに選びます。
	MPEG>PCM	MPEG 音声をリニア PCM 音声に変換して出力したいときに選びます。

映像出力

テレビ画面 お使いのテレビに合わせてテレビ画面の縦横比を設定します。接続した HDMI 機器についても有効です。	**4:3 (レターボックス)**	従来サイズのテレビと接続して、16:9 の映像をレターボックス方式 (画面の上下に黒い帯を入れて、4:3 の画面で 16:9 の映像を再現する方式) で見たいときに選びます。
	4:3(パンスキャン)	従来サイズのテレビと接続して、16:9 の映像をパンスキャン方式 (16:9 の映像の左右をカットして 4:3 の画面全体に映し出す方式) で見たいときに選びます。
	16:9(ワイド)	ワイドテレビ (16:9) と接続したときに選びます。
	16:9(シュリンク)	本機とテレビを HDMI ケーブルで接続して、[**画素数 (最大)**] を [1920x1080 p]、[1920x1080i]、または [1280x720p] に設定しているときのみ選べます。16:9 サイズのハイビジョンテレビで 4:3 の映像を正しく表示できます (テレビ画面の左右に黒い帯を付けて正しく表示します)。

お使いのテレビが従来サイズ(4:3)のとき		お使いのテレビがワイドテレビ(16:9)のとき	
本機の設定	映像の見えかた	本機の設定	映像の見えかた
4:3 (レターボックス)	16:9の映像 4:3の映像	16:9(ワイド)	16:9の映像 4:3の映像
4:3 (パンスキャン)	16:9の映像 4:3の映像	16:9(シュリンク)	16:9の映像 4:3の映像

• ディスクが画面の比率 (アスペクト比) の切り換えを許可しているときのみ設定が有効になります。ディスクのジャケットなどで確認してください。

画素数 (最大) • 解像度 (画素数) を変更します。 • HDMI ケーブルを使って他機器と接続しているときは [720x480p] がお買い上げ時の設定です。	**720x480i**	720x480 ピクセルのインターレース映像を出力します。
	720x480p	720x480 ピクセルのプログレッシブ映像を出力します。
	1280x720p	1280x720 ピクセルのプログレッシブ映像を出力します。
	1920x1080i	1920x1080 ピクセルのインターレース映像を出力します。
	1920x1080p	1920x1080 ピクセルのプログレッシブ映像を出力します。

• 解像度を切り換えたときは映像が乱れたり、出力に時間がかかる場合があります。
• 画素数を切り換えて決定すると確認メッセージの画面が表示されますので、[**はい**] を選択してください。画素切り換え後テレビに正しく画面が出ない場合は、「[画素数 (最大)] の設定をお買い上げ時の設定に戻す」(**P.17**) の操作を行って、画素数の設定を [720i × 480i] に戻してください。

HDMI カラー 接続した HDMI 機器へのカラー出力の設定を変更します。	RGB フルレンジ	より明るい白や深い黒を再現できます。画面の色再現が弱いときに設定します。
	RGB	[**RGB フルレンジ**] に設定したとき、白飛びや黒つぶれが発生し色濃度が強すぎる場合に設定します。
	色差	HDMI機器の標準設定となるコンポーネントビデオ出力フォーマットにしたいとき設定します。

設定項目	設定内容	

言語

設定項目	設定内容	
音声言語 DVD ビデオの音声言語を変更します。	**日本語**	日本語で音声を出力したいときに選びます。
	英語	英語で音声を出力したいときに選びます。
	その他の言語	その他の言語で音声を出力したいときに選びます。言語の選び方については **P.43** をご覧ください。

- ディスクによっては、ディスクで決められている音声の言語になることがあります。
- ディスクによっては、音声の言語をディスクメニューで選択するようになっています。このときは、リモコンの**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから音声の言語を選択してください。

設定項目	設定内容	
字幕言語 DVD ビデオの字幕言語を変更します。	**日本語**	日本語で字幕を表示したいときに選びます。
	英語	英語で字幕を表示したいときに選びます。
	その他の言語	その他の言語で字幕を表示したいときに選びます。言語の選び方については **P.43** をご覧ください。

- ディスクによっては、ディスクで決められている言語で字幕が表示されることがあります。
- ディスクによっては、字幕の言語をディスクメニューを使用して選択するようになっています。このときは、リモコンの**メニューボタン**を押してディスクメニューを表示させてから字幕の言語を選択してください。

設定項目	設定内容	
DVD メニュー言語 DVDビデオのディスクメニューに表示する言語を変更します。	**字幕言語に連動**	**[字幕言語]** で選択されている言語でメニュー画面を表示したいときに選びます。
	日本語	日本語でメニュー画面を表示したいときに選びます。
	英語	英語でメニュー画面を表示したいときに選びます
	その他の言語	その他の言語でメニュー画面を表示したいときに選びます。言語の選び方については **P.43** をご覧ください。
字幕表示 DVD ビデオの字幕を表示する / しないを設定します。	**オン**	字幕を表示したいときに選びます。
	オフ	字幕を表示したくないときに選びます。ただし、DVD ビデオの中には強制的に字幕を表示するディスクもあります。

表示

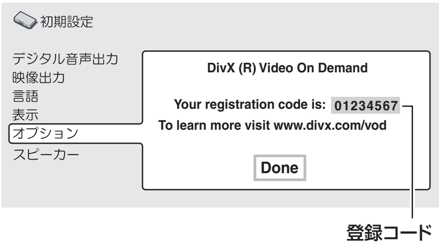
設定項目	設定内容	
画面表示言語 テレビ画面の操作表示言語を設定します。	**日本語**	操作表示を日本語で表示したいときに選びます。
	English	操作表示を英語で表示したいときに選びます。
アングルマーク表示	**オン**	テレビ画面にマークを表示したいときに選びます。
	オフ	テレビ画面にマークを表示したくないときに選びます。

設定項目	設定内容	
オプション		
HDMI コントロール	**オン**	HDMI ケーブルを使って接続している AV 機器のリモコンで本機を操作するときに選びます。「HDMI コントロール機能について (**P.33**)」もあわせてご覧ください。
	オフ	HDMI ケーブルを使って接続している AV 機器のリモコンで本機を操作しないときに選びます。
Pure Audio ボタン	有効	本体前面部の **PURE AUDIO ボタン**でピュアオーディオ機能のオン / オフを切り換えられます。
	無効	本体前面部の **PURE AUDIO ボタン**が操作を受け付けなくなります。
SACD 再生 SACD は、2 チャンネルと 5.1 チャンネルのエリアが別々になっています。ハイブリッド SACD は SACD 層と CD 層の 2 層構造になっています。ここでは SACD の再生するエリアを切り換えます。	**2ch エリア**	2ch エリアを再生したいときに選びます。
	マルチ ch エリア	マルチ ch エリアを再生したいときに選びます。
	CD エリア	CD 層を再生したいときに選びます。
DVD 再生方式 DVD ビデオと DVD オーディオが 1 枚に収録されているディスクを再生するとき、どちらを再生するかを設定します。	**DVD オーディオ**	DVD オーディオ (オーディオゾーン) を再生したいときに選びます。
	DVD ビデオ	DVD ビデオ (ビデオゾーン) を再生したいときに選びます。
• [**DVDビデオ**] を選択していても、本体前面部の**▲ OPEN/CLOSEボタン**を押したり、電源を切ると [**DVDオーディオ**] に戻ります。		
DTS ダウンミックス	**STEREO**	DTS のダウンミックス方法をステレオダウンミックスに設定するときに選びます。通常のステレオ音声でお楽しみいただけます。
	Lt/Rt	DTS のダウンミックス方法をサラウンドダウンミックスに設定するときに選びます。ドルビーサラウンドマトリックスと互換性のある音声です。サラウンド対応のアンプなどに接続することでサラウンド音声をお楽しみいただけます。
視聴制限 暴力シーンなどを含む DVDビデオには、視聴制限のレベルを設けたものがあります (ディスクのジャケットなどの表示で確認できます)。本機のレベルをディスクのレベルより小さく設定しておくと、これらのディスクの視聴を制限することができます。	暗証番号	暗証番号を登録、または変更したいときに選びます。 **暗証番号を登録するには** 1 [**暗証番号**] を選んで**決定ボタン**を押す 2 **数字 (0 ～ 9) ボタン**で 4 桁の暗証番号を入力して**決定ボタン**を押す **暗証番号を変更するには** 1 [**暗証番号変更**] を選んで**決定ボタン**を押す 2 **数字 (0 ～ 9) ボタン**ですでに登録してある暗証番号を入力して、**決定ボタン**を押す 3 **数字 (0 ～ 9) ボタン**で新しい暗証番号を入力して、**決定ボタン**を押す
	レベル変更	視聴制限のレベルを変更したいときに選びます。 **レベルを変更するには** 1 [**レベル変更**] を選んで**決定ボタン**を押す 2 **数字 (0 ～ 9) ボタン**で 4 桁の暗証番号を入力して、**決定ボタン**を押す 3 **←/→ ボタン**でレベルを変更して、**決定ボタン**を押す
	国 / 地域コード	国 / 地域コードを変更したいときに選びます。 **国 / 地域コードを変更するには** 「国 / 地域コード表 (**P.45**)」を見ながら操作してください。 1 [**国コード**] を選んで**決定ボタン**を押す 2 **数字 (0 ～ 9) ボタン**ですでに登録してある暗証番号を入力して、**決定ボタン**を押す 3 **↑/↓ ボタン**で選び、**決定ボタン**を押す

設定項目	設定内容	

- 暗証番号はメモしておくことをお勧めします。
- 暗証番号を忘れてしまったときは、本機を初期化して (**P.58**)、再度設定してください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみをとばして再生するものもあります。詳しくはディスクに添付されている操作方法をご覧ください。
- 視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力を求める画面が表示されることがあります。このとき、暗証番号を入力しないと再生することができません。
- 国 / 地域コードを変更したときは、ディスクを一度取り出してください。再度ディスクをセットすると変更が有効になります。

DivX VOD DivX VOD ファイルを本機で再生する場合、その DivX VOD ファイルの配信先に対して本機の登録コードが必要な場合があります。その場合は、Display で確認した登録コードをお使いください。	Display	**DivX VOD 登録コードを確認するには** 1 [DivX VOD] を選択して、➡ **ボタン**を押します。 2 [Display] を選択して、**決定ボタン**を押します。



- DivX VOD ファイルは DRM コピープロテクションがかかっており、登録されたプレーヤーでのみ再生することができます。
- 本機の登録コードが承認されていない DivX VOD ファイルを再生すると **'Authorization Error'** と表示され再生することができません。
- DivX VODファイルには視聴回数が設定されているものがあります。そのような DivX VOD ファイルを本機で再生すると残りの視聴回数が OSD 画面に表示されます。残りの視聴回数が 0 のファイルを本機が読み込むと **'Rental Expired'** と表示され再生することができません。また、視聴回数の設定されていない DivX VOD ファイルについては、OSD 画面には残りの視聴回数は表示されず、何度でも再生することができます。

スピーカー

音声出力モード 「音声出力について (**P.40**)」もあわせてご覧ください。	**2 チャンネル**	テレビなどのステレオ音声入力端子と本機の音声出力 (2ch) 端子を接続したときに選びます。
	5.1 チャンネル	AV アンプの 5.1 チャンネルアナログ音声入力端子などと本機の音声出力 (5.1ch) 端子を接続したときに選びます。

- **[2 チャンネル]** を選択しているときは、ドルビーデジタル、DTS、または MPEG のマルチチャンネル音声は 2 チャンネル音声にダウンミックスして出力されます。
- DVD オーディオでは、**[5.1 チャンネル]** を選択しているとデジタル音声が出力されません。
- DVD オーディオにはダウンミックスを禁止しているディスクがあります。そのときは、**[2 チャンネル]** を選択していてもダウンミックスされません。また、ダウンミックスを禁止しているディスクではデジタル音声は出力されません。
- **[2チャンネル]** を選択しているときは、DTS マルチチャンネルのダウンミックス方法が選択できます。
- HDMI 接続時は、接続している相手機器と再生ディスクによって、アナログのマルチチャンネル音声が出力されないことがあります。アナログのマルチチャンネル音声を楽しみたい場合は、**[HDMI 出力]**(**P.35**) を **[オフ]** に設定してください。

スピーカー設置	**開始**	• 各スピーカーのサイズを設定します。サイズの設定方法については「スピーカーのサイズを変更する (**P.43**)」をご覧ください。
スピーカー距離補正	**開始**	• リスニングポジションからスピーカーまでの距離を設定します。距離の変更方法については「スピーカーまでの距離を設定する (**P.44**)」をご覧ください。

音声の種類		[音声出力モード] の設定	音声出力 (5.1ch) 端子		デジタル音声出力端子	
			フロント左 / 右	センター サラウンド左 / 右 サブウーファー	リニアPCMに変換する	リニアPCMに変換しない
DVD	ドルビーデジタル	5.1 チャンネル	フロント左 / 右	センター サラウンド左 / 右 LFE[1]	2ch ダウンミックス	ドルビーデジタル
		2 チャンネル	2ch ダウンミックス	×	2ch ダウンミックス	ドルビーデジタル
	ドルビーデジタル カラオケ	5.1 チャンネル	左 / 右	×	左 / 右	ドルビーデジタル
		2 チャンネル				
	リニア PCM (DVD ビデオ)	5.1 チャンネル	左 / 右	×	左 / 右	左 / 右
		2 チャンネル				
	DTS	5.1 チャンネル	フロント左 / 右	センター サラウンド左 / 右 LFE[1]	2ch ダウンミックス	DTS
		2 チャンネル	2ch ダウンミックス	×	2ch ダウンミックス	DTS
	MPEG	5.1 チャンネル	フロント左 / 右	センター サラウンド左 / 右 LFE[1]	左 / 右	MPEG
		2 チャンネル	左 / 右	×	左 / 右	MPEG
DVD オーディオ		5.1 チャンネル	フロント左 / 右	センター サラウンド左 / 右 LFE[1]	×	×
		2 チャンネル	2ch ダウンミックス[2]	×	×	×
DVD-RW (VR モード)		5.1 チャンネル	左 / 右[3]	×	左 / 右	ドルビーデジタル MPEG リニア PCM
		2 チャンネル				
SACD		5.1 チャンネル	フロント左 / 右	センター サラウンド左 / 右 LFE[1]	×	×
		2 チャンネル	2ch ダウンミックス	×	×	×
音楽 CD/MP3/WMA/ MPEG-4 AAC		5.1 チャンネル	左 / 右	×	左 / 右	左 / 右
		2 チャンネル				
DTS CD		5.1 チャンネル	フロント左 / 右	センター サラウンド左 / 右 LFE[1]	2ch ダウンミックス	DTS
		2 チャンネル	2ch ダウンミックス	×	2ch ダウンミックス	DTS
ビデオ CD		5.1 チャンネル	左 / 右	×	左 / 右	左 / 右
		2 チャンネル				

×＝音声が出力されません。

1.超低域成分
2.DVD オーディオでは、ダウンミックスを禁止しているディスクがあります。このときは、**[音声出力モード]**(**P.39**) を **[2 チャンネル]** に設定していてもダウンミックスされません。また、ダウンミックスを禁止しているディスクではデジタル音声は出力されません。
3.**[音声出力モード]** が **[5.1 チャンネル]** のときは、モノラル素材はセンター出力のみとなります。

メモ

- ディスクに一部のチャンネルが記録されていないときは、そのチャンネルから音声は出力されません。

Q&A

Q1: デジタル音声が出力できない。

- **[デジタル出力]**の設定で**[オン]**を選択してください (**P.35**)。DVD オーディオにはデジタル音声出力できないディスクがあります。また、SACD では HDMI 対応の AV アンプなどと HDMI ケーブルを使って接続しているときのみデジタル音声を出力できます。

Q2: マルチチャンネル音声がデジタル出力できない。

- DVD オーディオのマルチチャンネル音声はデジタル出力できません (ドルビーデジタル、または DTS 音声はデジタル出力できます)。マルチチャンネル音声をお楽しみいただくためには、音声出力 (5.1ch) 端子に接続する (**P.30**)、または HDMI 対応機器と接続してください (**P.33**)。

Q3: 192 kHz/176.4 kHz 音声がデジタル出力できない。

- DVDオーディオの192 kHz/176.4 kHz音声はデジタル出力できません。96 kHz/88.2 kHz、または 48 kHz/44.1 kHz に変換して出力されます。また、ディスクによってはデジタル出力できないことがあります。

HDMI 出力の設定と出力される音声の種類について

音声の種類		[HDMI 出力] の設定		
		LPCM (2CH)	LPCM (5.1CH)	自動
DVD	ドルビーデジタル (DVD-RW を含む)	2ch ダウンミックス	5.1ch[1]	ドルビーデジタル[2]
	ドルビーデジタル カラオケ	左 / 右	5.1ch[1]	ドルビーデジタル[2]
	リニア PCM (DVD-RW を含む)	左 / 右	左 / 右	左 / 右
	DTS	2ch ダウンミックス	5.1ch[1]	DTS[2]
	MPEG (DVD-RW を含む)	左 / 右	5.1ch[1]	MPEG[2]
DVD オーディオ (CPPM あり)[3]		左 / 右、または 2ch ダウンミックス[4]	5.1ch[1]	5.1ch[1,3]
DVD オーディオ (CPPM なし)		左 / 右、または 2ch ダウンミックス[4]	5.1ch[1]	5.1ch[1,3]
SACD[5]		左 / 右	5.1ch[1]	5.1ch (DSD)[1,6]
音楽 CD/MP3/WMA/ MPEG-4 AAC		左 / 右	左 / 右	左 / 右
DTS CD		左 / 右	5.1ch[1]	DTS[2]
ビデオ CD		左 / 右	左 / 右	左 / 右

1.接続している HDMI対応機器がマルチチャンネルに対応していないときは、**[LPCM(2CH)]** に設定したときと同じ音声が出力されます。
2.接続している HDMI 対応機器がドルビーデジタル、DTS、MPEG などに対応していないときは自動でリニア PCM 音声に変換して出力します。
3.CPPM で保護されている DVD オーディオを再生したときに出力される音声については次ページをご覧ください。
4.ディスクが音声のダウンミックスを禁止しているときは、フロント左 / 右の音声のみ出力します。
5.接続している HDMI 対応機器が音声の著作権保護情報を処理できないとき (SACD に対応していないとき) は、SACD の音声は HDMI 出力端子から出力されません。
6.接続している HDMI 対応機器が DSD フォーマットに対応していないときはリニア PCM 音声に変換して出力します。

HDMI 出力端子から出力される DVD オーディオ /SACD の音声について

接続している HDMI 機器によって出力される音声は異なります。

接続しているHDMI機器が対応しているディスク / 音声[1]		製品例	再生するディスク	
			DVD オーディオ /SACD	
			2ch 音声	5.1ch 音声
SACD	○	VSA-LX70 VSA-AX1AH	2ch 音声が出力されます。	5.1ch 音声が出力されます。[2] (SACD では DSD 5.1ch 音声が出力されます。)
DVD オーディオ	○			
5.1ch 音声	○			
2ch 音声	○			
SACD	×	VSA-AX4AVi VSA-AX2AV	2ch 音声が出力されます。	5.1ch 音声が出力されます。[2]
DVD オーディオ	○			
5.1ch 音声	○			
2ch 音声	○			
SACD	×	PDP-6010HD PDP-5010HD PDP-508HX PDP-428HX	2ch 音声が出力されます。	左 / 右のみ、または 2ch 音声にダウンミックスして出力されます。[3]
DVD オーディオ	○			
5.1ch 音声	×			
2ch 音声	○			
SACD	×	PDP-505HDL PDP-505HDS PDP-435SX	音声は出力されません。[4]	音声は出力されません。[4]
DVD オーディオ	×			
5.1ch 音声	×			
2ch 音声	×			

1. 接続している HDMI 対応機器が DVD オーディオ、SACD、5.1 音声、または SACD の DSD 音声に対応しているか確認してから **[HDMI 出力]**(**P.35**) の設定を変更してください。接続している HDMI 対応機器が DVD オーディオ /SACD に対応していない (音声の著作権情報を処理できない) ときは、DVD オーディオ /SACD の音声は HDMI 出力端子から出力されません。
2. **[HDMI 出力]**(**P.35**) を **[LPCM(2CH)]** に設定しているときは、DVD オーディオの 5.1ch 音声を 2ch 音声にダウンミックスして出力します。ただし、音声のダウンミックスを禁止しているディスクを再生したときはフロント左 / 右のみ出力します。
   [SACD 再生](**P.38**) を **[マルチ ch エリア]** 設定しているときは、SACD の 5.1ch 音声を 2ch 音声にダウンミックスして出力します。それ以外のときは 2ch 音声をそのまま出力します。
   また、本機の **[画素数 (最大)]** を **[720 x 480i]**、または **[720 x 480p]** に設定しているとき、接続している HDMI 対応機器によっては 2ch 音声で出力することがあります。
3. 音声のダウンミックスを禁止しているディスクを再生したときはフロント左 / 右のみ出力します。
4. 本体表示窓に **'CPPM'** と表示されます (著作権保護 (CPPM) されている DVD オーディオの音声は HDMI 出力端子から音声が出力できません)。著作権保護されていないときは 2ch 音声を出力します。

相手機器の対応 fs（サンプリング周波数）による DVD オーディオ出力例

接続機器の対応 最大サンプリング周波数		コンテンツのオーディオフォーマット		
		44.1 kHz/48 kHz	88.2 kHz/96 kHz	176.4 kHz/192 kHz
接続機器	48 kfs	44.1 kHz/48 kHz	44.1 kHz/48 kHz[1]	44.1 kHz/48 kHz[1]
	96 kfs	44.1 kHz/48 kHz	88.2 kHz/96 kHz	44.1 kHz/48 kHz[1]
	192 kfs	44.1 kHz/48 kHz	88.2 kHz/96 kHz	176.4 kHz/192 kHz

・ 1. 対応するサンプリング周波数にダウンサンプルして出力します。

[その他の言語] を選んだとき

「言語コード表（P.45）」にある 136 言語の中から選ぶことができます。DVD に収録されていない言語を設定したときは、収録されているいずれかの言語でメニュー画面が表示されます。



1　[その他の言語] を選択して、決定ボタンを押す

2　⬅/➡ ボタンを使って [言語表] または [コード] を選択する

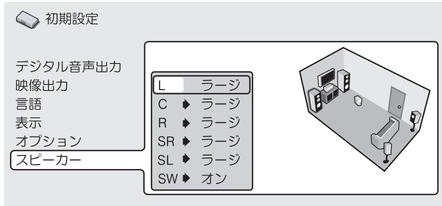
- 言語によってはコード番号しか表示されないものがあります。詳しくは「言語コード表（P.45）」をご覧ください。

3　⬆/⬇ ボタンまたは数字ボタンを使って言語コードを入力し、決定ボタンを押す

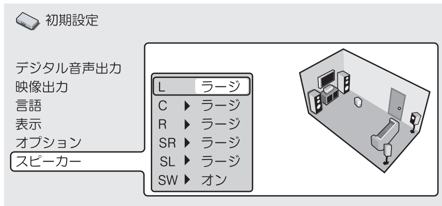
スピーカーのサイズを変更する

1　[スピーカー設置] を選んで決定ボタンを押す

2　⬆/⬇ ボタンでスピーカーを選び、➡ ボタンでカーソルを右に移動する



3　⬆/⬇ ボタンで大きさ、または接続の有無を選択する



- **ラージ**
  大きいスピーカーに接続しているときに選びます(目安としてコーンサイズ 12 cm 以上)。
- **スモール**
  小さいスピーカーに接続しているときに選びます (目安としてコーンサイズ 12 cm 未満)。
- **オフ**
  スピーカーを接続していないときに選びます。
- **オン**
  サブウーファー(SW) を接続しているときに選びます ([**SW(サブウーファー)**] では [**オン**]/[**オフ**] を設定します)。

4　手順2～3を繰り返して、各スピーカーの設定をする

5　決定ボタンを押す

- [**スピーカー設置**] の画面が消えます。

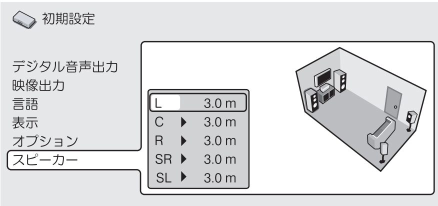
メモ

- [**SW(サブウーファー)**] を [**オン**] に設定しているときは、LFE(超低音の効果音) がサブウーファーから出力します。
- [**L(フロント左)**]/[**R(フロント右)**] スピーカーを [**スモール**] に設定すると、[**SR(サラウンド右)**]/[**SL(サラウンド左)**] と [**C(センター)**] スピーカーの大きさは自動的に [**スモール**] に設定されます。また、[**SW(サブウーファー)**] は [**オン**] に設定されます。

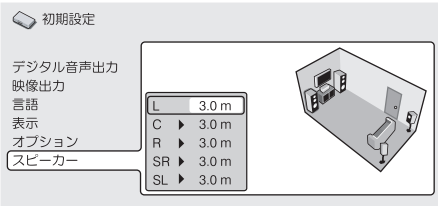
スピーカーまでの距離を設定する

1 [スピーカー距離補正] を選んで決定ボタンを押す

2 ⬆/⬇ ボタンでスピーカーを選び、➡ ボタンでカーソルを右に移動する



3 ⬆/⬇ ボタンで距離を設定する



- 設定できる範囲は以下のとおりです。
  L：0.3 m ～ 9 m
  R：0.3 m ～ 9 m
  C：L/R の距離から－ 2.1 m ～ 0 m
  SR：L/R の距離から－ 6.0 m ～ 0 m
  SL：L/R の距離から－ 6.0 m ～ 0 m

4 手順2～3を繰り返して、各スピーカーの距離を設定をする

5 決定ボタンを押す

- [スピーカー距離補正] の画面が消えます。

メモ

- 5.1 チャンネル再生では、スピーカーの距離の設定はすべてのスピーカーは同一サイズ、リスニングポジションから等距離にあることが理想です。それが不可能な場合、各スピーカーにディレイタイム (遅延時間) を設定することで、仮想的に理想の視聴空間を実現します。
- サブウーファー (SW) の距離を調整することはできません。
- DVD ビデオ、または MPEG 音声の再生中は、[C]、[SR]、[SL] の距離補正の上限が － 0.9 m になります。
- [スピーカー距離補正] の設定は、SACD の再生中は無効です。

言語コード表

言語名 (言語コード), 入力コード

Japanese (ja), **1001**
English (en), **0514**
French (fr), **0618**
German (de), **0405**
Italian (it), **0920**
Spanish (es), **0519**
Chinese (zh), **2608**
Dutch (nl), **1412**
Portuguese (pt), **1620**
Swedish (sv), **1922**
Russian (ru), **1821**
Korean (ko), **1115**
Greek (el), **0512**
Afar (aa), **0101**
Abkhazian (ab), **0102**
Afrikaans (af), **0106**
Amharic (am), **0113**
Arabic (ar), **0118**
Assamese (as), **0119**
Aymara (ay), **0125**
Azerbaijani (az), **0126**
Bashkir (ba), **0201**
Byelorussian (be), **0205**
Bulgarian (bg), **0207**
Bihari (bh), **0208**
Bislama (bi), **0209**
Bengali (bn), **0214**
Tibetan (bo), **0215**
Breton (br), **0218**
Catalan (ca), **0301**
Corsican (co), **0315**
Czech (cs), **0319**
Welsh (cy), **0325**
Danish (da), **0401**
Bhutani (dz), **0426**
Esperanto (eo), **0515**
Estonian (et), **0520**
Basque (eu), **0521**
Persian (fa), **0601**
Finnish (fi), **0609**
Fiji (fj), **0610**
Faroese (fo), **0615**
Frisian (fy), **0625**
Irish (ga), **0701**
Scots-Gaelic (gd), **0704**
Galician (gl), **0712**
Guarani (gn), **0714**
Gujarati (gu), **0721**
Hausa (ha), **0801**
Hindi (hi), **0809**
Croatian (hr), **0818**
Hungarian (hu), **0821**
Armenian (hy), **0825**
Interlingua (ia), **0901**
Interlingue (ie), **0905**
Inupiak (ik), **0911**
Indonesian (in), **0914**
Icelandic (is), **0919**
Hebrew (iw), **0923**
Yiddish (ji), **1009**
Javanese (jw), **1023**
Georgian (ka), **1101**
Kazakh (kk), **1111**
Greenlandic (kl), **1112**
Cambodian (km), **1113**
Kannada (kn), **1114**
Kashmiri (ks), **1119**
Kurdish (ku), **1121**
Kirghiz (ky), **1125**
Latin (la), **1201**
Lingala (ln), **1214**
Laothian (lo), **1215**
Lithuanian (lt), **1220**
Latvian (lv), **1222**
Malagasy (mg), **1307**
Maori (mi), **1309**
Macedonian (mk), **1311**
Malayalam (ml), **1312**
Mongolian (mn), **1314**
Moldavian (mo), **1315**
Marathi (mr), **1318**
Malay (ms), **1319**
Maltese (mt), **1320**
Burmese (my), **1325**
Nauru (na), **1401**
Nepali (ne), **1405**
Norwegian (no), **1415**
Occitan (oc), **1503**
Oromo (om), **1513**
Oriya (or), **1518**
Panjabi (pa), **1601**
Polish (pl), **1612**
Pashto, Pushto (ps), **1619**
Quechua (qu), **1721**
Rhaeto-Romance (rm), **1813**
Kirundi (rn), **1814**
Romanian (ro), **1815**
Kinyarwanda (rw), **1823**
Sanskrit (sa), **1901**
Sindhi (sd), **1904**
Sangho (sg), **1907**
Serbo-Croatian (sh), **1908**
Sinhalese (si), **1909**
Slovak (sk), **1911**
Slovenian (sl), **1912**
Samoan (sm), **1913**
Shona (sn), **1914**
Somali (so), **1915**
Albanian (sq), **1917**
Serbian (sr), **1918**
Siswati (ss), **1919**
Sesotho (st), **1920**
Sundanese (su), **1921**
Swahili (sw), **1923**
Tamil (ta), **2001**
Telugu (te), **2005**
Tajik (tg), **2007**
Thai (th), **2008**
Tigrinya (ti), **2009**
Turkmen (tk), **2011**
Tagalog (tl), **2012**
Setswana (tn), **2014**
Tonga (to), **2015**
Turkish (tr), **2018**
Tsonga (ts), **2019**
Tatar (tt), **2020**
Twi (tw), **2023**
Ukrainian (uk), **2111**
Urdu (ur), **2118**
Uzbek (uz), **2126**
Vietnamese (vi), **2209**
Volapük (vo), **2215**
Wolof (wo), **2315**
Xhosa (xh), **2408**
Yoruba (yo), **2515**
Zulu (zu), **2621**

国 / 地域コード表

国 / 地域名 , 入力コード , 国 / 地域コード

アメリカ **, 2119, us**
アルゼンチン **, 0118, ar**
イギリス **, 0702, gb**
イタリア **, 0920, it**
インド **, 0914, in**
インドネシア **, 0904, id**
オーストラリア **, 0121, au**
オーストリア **, 0120, at**
オランダ **, 1412, nl**
カナダ **, 0301, ca**
韓国 **, 1118, kr**
シンガポール **, 1907, sg**
スイス **, 0308, ch**
スウェーデン **, 1905, se**
スペイン **, 0519, es**
タイ **, 2008, th**
台湾 **, 2023, tw**
中国 **, 0314, cn**
チリ **, 0312, cl**
デンマーク **, 0411, dk**
ドイツ **, 0405, de**
日本 **, 1016, jp**
ニュージーランド **, 1426, nz**
ノルウェー **, 1415, no**
パキスタン **, 1611, pk**
フィリピン **, 1608, ph**
フィンランド **, 0609, fi**
ブラジル **, 0218, br**
フランス **, 0618, fr**
ベルギー **, 0205, be**
ポルトガル **, 1620, pt**
香港 **, 0811, hk**
マレーシア **, 1325, my**
メキシコ **, 1324, mx**
ロシア **, 1821, ru**

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらチェックしてみてください。ちょっとした操作ミスが故障と思われがちです。商品のお取り扱いについてのご不明な点は、お買い求めの販売店様、または裏表紙に記載されているカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。また本機以外の原因も考えられます。ご使用のテレビ、AV アンプ 、またはスピーカーなどもあわせてお調べください。下記の項目に従って再度点検されても直らないときは、修理受付センター、またはお買い求めの販売店様にお問い合わせください。また、弊社ホームページにも本機の取り扱いについての Q&A を掲載していますので、あわせてご覧ください。**http://pioneer.jp/support/product/dvdld.html**

一般

症状	原因 / 対策	参照ページ
設定した内容が消えてしまった。	本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。電源コードは、必ず本体の ⏻ **STANDBY/ON ボタン**、またはリモコンの ⏻ **電源ボタン**を押して、表示窓の **'-OFF-'** 表示が消えてから抜いてください。特に他機器の AC アウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに直接接続することをお勧めします。	
リモコンで操作できない。	• 本体背面部のコントロール入力端子に AV アンプなどを接続していませんか。コントロール入力端子に接続している機器のリモコンで本機を操作してください。 • 本体から離れた場所で操作していませんか。リモコン受光部との距離が 7 m の範囲で操作してください。 • 電池がなくなっていませんか。電池を交換してください。 • スタートアップナビゲーターを起動中は、**⏏ 開 / 閉ボタン**、**↑/↓/←/→ ボタン**、**決定ボタン**、および**戻るボタン**以外のボタンは操作できません。	
DTS 音声が出力されない。	• 本機と DTS 音声に対応していないアンプ、またはデコーダーをデジタル音声ケーブルで接続しているときは **[DTS 出力]** を **[DTS > PCM]** に設定してください。ノイズが発生することがあります。 • DTS 音声対応アンプ、またはデコーダーと接続しているときはアンプの設定を確認してください。また、デジタル音声ケーブルが正しく接続しているか確認してください。	**35** **29**
音が歪んでしまう。 スピーカーから音が出ない。	• 音声ケーブルのプラグが十分差し込まれていますか？ • 接続している音声ケーブルが断線していませんか？ • 音声ケーブルのプラグや本機の音声出力端子、または接続したテレビや AV アンプなどの音声入力端子が汚れていたら、汚れを拭き取ってください。 • デジタル接続しているときは **[デジタル出力]** を **[オン]** に設定してください。 • **[デジタル音声出力]** の設定により、音が出ないことがあります。 • ディスクが汚れていませんか？ • 一時停止、コマ送り、またはスローなどの再生をしていませんか？ • 接続したテレビや AV アンプなどの音量が最小になっていませんか？ AV アンプに接続したときは入力切換、およびスピーカーの設定を確認してください。 • アンプの PHONO 端子には接続しないでください。	**8**,**29**-**31** **35** **35** **16**,**19**
映像が映らない。	• ビデオケーブルのプラグが十分差し込まれていますか？ • 接続しているビデオケーブルが断線していませんか？ • AV アンプなどに映像出力端子を接続したときは、AV アンプの入力を接続している機器に設定してください (たとえば DVD など)。 • 本体前面部の PURE AUDIO インジケーターが点灯していませんか？点灯中は本機から映像が出力されません。停止中に本体前面部の **PURE AUDIO ボタン**を押して消灯させてください。 • お使いのテレビが 1080 p /1080i/720p/480p に対応しているか確認してください。対応していないときはお買い上げ時の設定 (**[720x480i]**) に戻してください。	**11**
画面が縦または横に伸びている。	• 接続したテレビに合わせて **[テレビ画面]** の設定をしてください。 • S2 映像出力に対応していないテレビに S 映像ケーブルで接続すると、正常な映像が表示されない場合があります。その場合は、S 映像ケーブル以外で接続してください。	**36**

症状	原因 / 対策	参照ページ
DVD と CD で音量差を感じる。	ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。	
DVD再生中に映像が乱れる、または暗い。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクを再生したとき、テレビによっては画像の一部に横しまが入るなどの症状が出るものもありますが、故障ではありません。	**8**
DVD映像をVTRに録画したり、VTR を通して再生すると再生画面が乱れる。	本機はアナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しています。ディスクによってはコピー禁止信号が入っています。そのようなディスクを VTR を通して、またはVTRに録画して再生するとコピーガードにより正常に再生されません。	**8**
本機をビデオ内蔵テレビに接続して DVD を再生すると映像が乱れる。	ビデオ内蔵テレビの機種によっては、コピーガードの働きにより正常に再生されないことがあります。詳しくは、お使いのテレビメーカーにお問い合わせください。	**8**
テレビなどが誤動作する。	ワイヤレスリモコン機能を持つテレビが、本機のリモコン信号により誤動作することがあります。本機と離して設置してご使用ください。	
DVD オーディオを再生すると途中で停止してしまう。	違法に複製されたディスクの可能性があります。	
スピーカーからマルチチャンネル音声が出力されない。	• **[音声出力モード]** の設定で **[5.1 チャンネル]** を選択してください。 • **[SACD 再生]** の設定で **[マルチ ch エリア]** を選択してください。 • **[スピーカー設置]**の設定を行ってください。 • ディスクのメニュー、またはリモコンの**音声ボタン**でディスクの音声をマルチチャンネルに切り換えてください。	**39** **43**
デジタル音声が出力できない。	• **[デジタル出力]** の設定で **[オン]** を選択してください。 • DVD オーディオにはデジタル音声を出力できないディスクがあります。 • SACD のデジタル音声は HDMI 対応の AV アンプと接続しているときのみ出力できます。 • 本体前面の PURE AUDIO インジケーターが点灯していませんか？点灯中は本機からデジタル音声が出力されません。停止中に本体前面の **PURE AUDIO ボタン**を押して消灯させてください。	**35** **38** **11**
マルチチャンネル音声がデジタル出力できない。	DVDオーディオのマルチチャンネル音声はデジタル出力できません (ドルビーデジタル、または DTS 音声はデジタル出力できます)。マルチチャンネル音声をお楽しみいただくためには、音声出力端子 (5.1ch) の接続をしてください。	**30**
192 kHz/176.4 kHz 音声がデジタル出力できない。	DVD オーディオの 192 kHz/176.4 kHz 音声はデジタル出力できません。96 kHz/88.2 kHz、または 48 kHz/44.1 kHz に変換して出力されます。また、ディスクによってはデジタル出力できないことがあります。	
96 kHz/88.2 kHz 音声でデジタル出力できない。	• **[リニア PCM 出力]** の設定で **[ダウンサンプル オン]** が選択されていないか確認してください。 • 著作権保護がされているディスクでは 96 kHz/88.2 kHz 音声のデジタル出力が禁止されています。	**36**
画面が止まり、本体やリモコンのボタン操作を受け付けなくなってしまった。	本体前面部の ⏻ **STANDBY/ON ボタン**を約 10 秒間押すと、強制的に電源が切れます。再度電源を入れて、ご使用ください。	
勝手に電源がオフになる	• ディスクを再生していないときに約 30 分間、本体またはリモコンの操作をしないと、電源が自動的にスタンバイ状態になります (オートパワーオフ機能)。再度電源を入れてください。 • 接続しているテレビの電源をオフにすると連動して本機の電源がオフになることがあります。テレビと連動して本機の電源をオフにしたくないときは **[HDMI コントロール]** を **[オフ]** に設定してください。	 **38**
勝手に電源がオンになる。	• 接続しているテレビの電源をオンにすると連動して本機の電源がオンになることがあります。テレビと連動して本機の電源をオンにしたくないときは **[HDMI コントロール]** を **[オフ]** に設定してください。	**38**
接続しているテレビや AV アンプなどの入力が自動で切り換わる。	• 本機が再生を開始したり設定画面 (ディスクナビゲーターなど) を表示すると接続しているテレビや AV アンプの入力が自動で本機に切り換わることがあります。テレビや AV アンプの入力を自動で切り換えたくないときは **[HDMI コントロール]** を **[オフ]** に設定してください。	**38**
本体表示窓の表示が暗い、または消えている。	• FL ディマーの設定を確認してください。リモコンの **FL ディマーボタン**で設定を切り換えらます。	**14**

HDMI 関係

症状	原因 / 対策	参照ページ
HDMI出力端子に機器を接続したが、本体前面部のHDMIインジケーターが赤く点灯しない。	• 本機は HDMI 機器との接続を目的として設計されています。DVI 機器との接続では正常に映像が出ない可能性があります。 • 接続したHDMIの入力切り換えを本機に合わせてください。	
HDMI出力端子に接続した機器の映像が映らない。	• DVI 機器と接続していませんか？DVI 機器との接続では正常に映像が出ない可能性があります。 • 接続している機器が対応していない解像度に切り換えていませんか？ **[画素数 (最大)]** を合わせてください。どうしても映像が出力されないときは、本機のの電源がオフのときに、**⏮ ◀◀ボタン**を押しながら、**⏻ STANDBY/ON ボタン**を押してください。**[画素数(最大)]**の設定が**[720p×480p]**に戻ります。 • 本体前面部の PURE AUDIO インジケーターが点灯していませんか？点灯中は映像が出力されません。停止中に**PURE AUDIOボタン**を押してPURE AUDIO インジケーターを消灯させてください。 • お使いの HDMI ケーブルによっては 1080 p の映像が出力できないことがあります。	**36** **11**
HDMI 出力端子からマルチチャンネル音声が出力できない。	**[HDMI 出力]** を **[自動]**、または **[LPCM(5.1CH)]** に設定してください。また、**[SACD 再生]** を **[マルチ ch エリア]** に設定してください。	**35**,**38**
HDMI出力端子から音声が出ない。	• 接続機器が DVD オーディオに対応していない場合、CPPM入りの DVD オーディオの音声は HDMI 出力しません。 • **[HDMI 出力]** が **[LPCM(2ch)]**、**[LPCM(5.1ch)]**、**[自動]** に設定されているか確認してください。 • 本体前面部の PURE AUDIO インジケーターが点灯していませんか？点灯中はデジタル音声が出力されません。停止中に **PURE AUDIO ボタン**を押して PURE AUDIO インジケーターを消灯させてください。	**35** **11**
[HDMI カラー] を切り換えたときに、色が正しく映らない。	• モニターの入力設定を切り換えてください。 • **[HDMI カラー]** を変更前に戻してください。	**36** **36**
HDMIコントロール機能が働かない。	• HDMI ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 • 本機の **[HDMI コントロール]** が **[オン]** に設定されているか確認してください。 • 接続している機器の **[HDMI コントロール]** が **[オン]** に設定されていますか。HDMI コントロール機能は、HDMI ケーブルで接続されているすべての機器の **[HDMI コントロール]** を **[オン]** に設定しているときに働きます。接続、および各機器の設定が完了したら、本機の映像がプラズマテレビに出力されているか確認してください (接続する機器を変更したり、HDMI ケーブルを差し直したときも確認してください)。詳しくは、接続している機器の取扱説明書をご覧ください。 • 複数の機器を接続していませんか？本機を含めて 3 台以上の機器が接続されていると働かないことがあります。 • 接続している機器が HDMI コントロール機能に対応しているか確認してください。接続しているプラズマテレビによっては働かないことがあります。 • 他社の機器と HDMI ケーブルを使って接続しても HDMI コントロール機能は働きません。 • HDMI コントロール機能に対応している機器と本機の間に HDMI コントロール機能に対応していない機器、または他社の機器が接続されているときは働きません。 • 接続している機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。 • HDMI ケーブルが HDMI1.3 規格 (カテゴリー 2) 以降に対応していないと HDMI コントロール機能が正しく動作しないことがあります。HDMI1.3 規格 (カテゴリー 2) 以降の HDMI ケーブルをお使いください。	**38** **38**

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、修理受付センターまたはお買い求めの販売店様にご相談ください。

再生できるディスクについて

DVD の再生について

- 本機は DVD ビデオフォーマット、または VR モードで記録されたファイナライズ済の DVD-R、DVD-RW、および DVD-R DL を再生できます。
- 本機は DVD ビデオフォーマットで記録された DVD+R、DVD+RW、および DVD+R DL を再生できます。ただし、ファイナライズされていないディスクは再生できません。また、録画時の編集内容どおりには再生されないことがあります。
- 本機はMP3、WMA、MPEG-4 AAC、DivX、WMV、または JPEGが記録された DVD-R/-RW、および DVD+R/+RW は再生できません。
- UDF(ユニバーサルディスクフォーマット) に準拠して記録したディスクを使用してください。
- DVD レコーダーで編集 (シーン消去など) をした箇所を再生すると、そのつなぎ目で一瞬映像が止まります。これは故障ではありません。
- DVD ビデオフォーマット、および VR モードについては **P.56,57**、または DVD レコーダーの取扱説明書をご覧ください。VR モードで記録できるディスクは DVD-R/-RW/-R DL だけです。また、VR モードで記録された DVD-RW を本機にセットすると「DVD VR」と表示されます。

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

- 本機は音楽 CD フォーマット、ビデオ CD フォーマット、WMA/MP3/MPEG-4 AAC の音楽データ、JPEG の静止画像、または DivX/WMV の動画が記録されたCD-R/-RWディスクを再生することができます。ただし、ディスクよっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起こることがあります。
- 本機は再生専用機です。CD-R/-RW ディスクに録音することはできません。
- ファイナライズしていないCD-R/-RWディスクを再生することはできません。
- 詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

DualDisc の再生について

- 「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。
- DVD面ではないオーディオ面は一般的なCDの物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。
- 「DualDisc」の DVD の面は再生可能です。
- DVD オーディオは再生できません。
- 「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

WMA の再生について

- Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。
- WMA とは、「Windows Media Audio」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、または Windows Media® Player 9 Seriesを使用してエンコードすることができます。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- サンプリング周波数 32 kHz、44.1 kHz、または 48 kHz で記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは[このフォーマットは再生できません] と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート (VBR:Variable Bit Rate)、またはロスレスエンコーディング(loss-less encoding)には対応していません。
- 「.wma」、または「.WMA」という拡張子がついた WMA ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション (**P.55**) には対応していません。
- DRM コピープロテクトのかかった WMA ファイルは再生できません。
- WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation の認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

WMV について

- WMV とは、「Windows Media Video」の略で、米国Microsoft Corporationによって開発された映像 / 音声圧縮技術です。本機は Windows Media® Player 9 Series でエンコードされた WMV9 ファイルに対応しています。
- 拡張子「.wmv」の付いたファイル、および解像度が 720 × 480 ピクセルまでのファイルを再生できます。
- Advanced Profile には対応していません。
- DRM コピープロテクトのかかった WMV ファイルは再生できません。

MP3 の再生について

- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- MPEG1 オーディオレイヤー 3 のサンプリング周波数 32 kHz、44.1 kHz、または 48 kHz で記録されたファイルに対応しています。それ以外で記録されたファイルは [このフォーマットは再生できません] と表示され、再生することができません。
- 可変ビットレート (VBR:Variable Bit Rate) には対応していません (再生できる場合、表示窓の時間表示が速くなったり、遅くなったりします)。
- 「.mp3」、または「.MP3」という拡張子がついた MP3 ファイルのみ再生することができます。
- マルチセッション (**P.55**) には対応していません。
- 音質的には、記録ビットレート 128 kbps 以上をお勧めします。

MPEG-4 AAC について

- AAC とは「Advanced Audio Coding」の略です。MPEG-2 および MPEG-4 で使用される音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。
- 本機では、iTunes® を使用してエンコードされた、拡張子が「.m4a」の AAC ファイルの再生に対応しています。ただし、DRM コピープロテクト（著作権保護）のかかったファイルやエンコードする iTunes のバージョンによっては再生できないことがあります。
- iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

JPEG の再生について

- JPEG とは、写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式 (画像フォーマット) のひとつです。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステムおよび拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 本機は JPEG 形式の画像を 720p/1080i の高解像度で出力する JPEG HD に対応しています。
- 本機では、フジカラーCD、コダックピクチャーCD、または CD-R/CD-RW/CD-ROM に記録されている JEPG ファイルを再生することができます (記録方法などによって再生できないこともあります)。
- 総ピクセル数が 3072X2048 ピクセル以下のベースラインJPEGファイル、および Exif 2.2*(**P.56**) に準拠した JPEG ファイルの静止画再生に対応しています。
- 「.jpg」、または「.JPG」という拡張子がついた JPEG ファイルの静止画像を表示することができます。
- プログレッシブ JPEG には対応していません。
- ファイルサイズが大きいファイルは、画像の再生に時間がかかることがあります。

* デジタルスチルカメラ用画像ファイルフォーマット規格 (Exif)Ver2.2、JEIDA-49-1998(社) 電子情報技術産業協会 JEITA

DivX の再生について

- DivX® Ultra Certified 製品。
- DivX は、DivX, Inc. が開発したメディア技術です。DivX のメディアファイルには、画像データが含まれます。また、DivXファイルはメニューや複数の字幕、音声の切り換えといった高度な再生機能を付けることも可能です。
- 本機では CD-R/-RW/-ROM ディスクに記録された DivX ファイルを再生することができます。
- ISO9660 レベル 1/ レベル 2 の CD-ROM ファイルシステム、および拡張フォーマット（Joliet、Romeo）に準拠して記録したディスクを使用してください。
- 本取扱説明書では、それぞれのDivXファイルをDVDに合わせて「タイトル」と呼びます。DivXファイルはタイトルのアルファベット順に再生されますので、CD-R/-RW に記録する際はタイトル名の付け方にご注意ください。
- DivX® メディアファイルと DivX® Media Format の高度な再生機能が付いているDivX® ビデオを再生 (DivX® 6 も含むすべてのバージョンに対応)。
- 「.avi」または「.divx」という拡張子が付いた DivX ファイルのみ再生することができます。また本機では、「.avi」という拡張子は MPEG4 として認識しますが、MPEG4 の中でも DivX ファイルでない場合があります。その場合は本機では再生できない可能性がありますのでご注意ください。
- DivX、DivX Ultra Certified、および関連するロゴは、DivX, Inc. の商標です。これらの商標は、DivX, Inc. の使用許諾を得て使用しています。

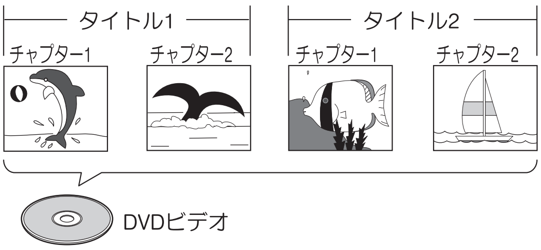
注意

- レコーダー、またはパソコンで記録した DVD-R/-RW/-R DL ディスク、CD-R/-RW ディスクを再生できないことがあります（原因：ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など）。

- パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください（詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください）。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。
- ファイナライズしていないDVD-R/-RW/-R DLディスク、CD-R/-RW ディスクを再生することはできません。

タイトルとチャプターについて

- DVDではディスクをタイトルという単位で分け、さらにタイトルをチャプターという単位で分けています（DVD ビデオにはメニュー映像が記録されているソフトがありますが、このメニュー映像はどのタイトルにも属していません）。
- DVD ビデオの映画ソフトなどでは、ふつう 1 つの映画が 1 つのタイトルに対応し、複数のチャプターで構成されています。また、カラオケソフトのように 1 曲が 1 タイトルとなっているディスクもありますし、このような区切りになっていないディスクもあります。



トラックについて

- CD やビデオ CD では、ディスクをトラックという単位で分けています（一般的には、1 曲が 1 つのトラックに対応しています。またさらに、トラックがインデックスという単位で分けられている場合もあります）。

DVD オーディオのグループとトラックについて

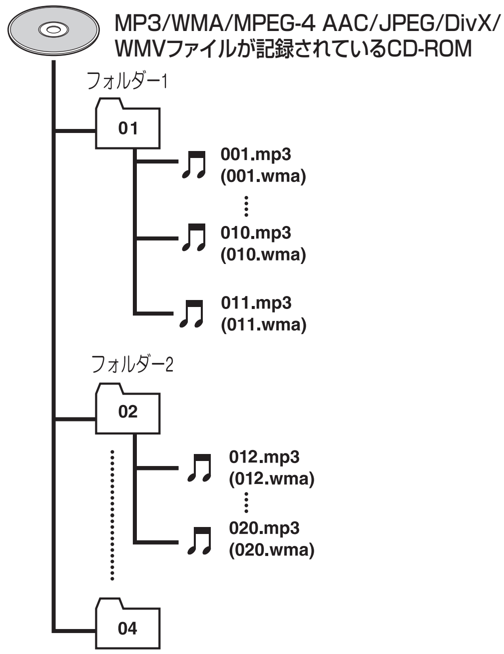
- ディスクをグループという単位で分け、さらにグループをトラックという単位で分けています。一般的には 1 曲が1つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。DVDビデオのようにメニューや映像などが収録されているディスクもあります。

ビデオ CD/SACD/CD のトラックについて

- ディスクをトラックという単位で分けています。一般的には 1 曲が 1 つのトラックに対応しています。また、さらにトラックがインデックスという単位で分けられているディスクもあります。

WMA/MP3/MPEG-4 AAC/DivX/WMV/JPEG について

- フォルダー名は、1 枚のディスクで最大 299 フォルダーまで認識することができます。トラック名、ファイル名は、アルファベット順に 1 フォルダー内に合計 648 まで認識・再生することができます。ただし、フォルダーの構成によっては、すべてのフォルダー、トラック、ファイルを認識・再生できない場合があります。
- WMA/MP3/MPEG-4 AAC のフォルダー / トラックの名前や、JPEG/DivX/WMV のフォルダー/ ファイルの名前を表示することができます。ただし、本機は半角英数字以外の文字には対応していません。半角英数字以外で入力されたフォルダー/ トラック / ファイル名は文字化けしたり、[F_001]/[T_001]/[FL_001]のように表示されることがあります。



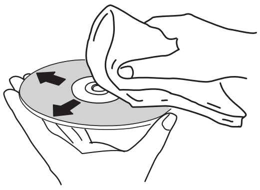
ディスクの取り扱いかた

保管

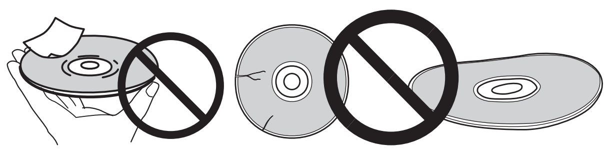
- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光の当たる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付くと、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。

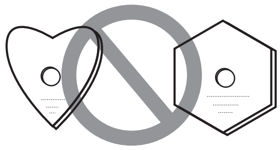


- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク (ひびや反りのあるディスク) は使用しないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れをつけないでください。
- ディスクに紙やラベル用シールなどを貼り付けないでください。ディスクが反って、不具合が発生する恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどのはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを 2 枚重ねて再生しないでください。



特殊な形のディスクについて

- 本機では、丸いディスクのみ再生できます。特殊な形のディスク (ハート型や六角形など) は故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。



レンズのクリーニングについて

- レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びしたり画像が乱れたりすることがあります。このような場合は、『保証とアフターサービス』(**P.59**) をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

ディスクの結露について

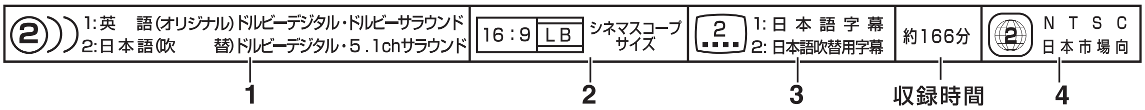
- 冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります (結露)。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

DVD のディスクジャケットの表記について

DVDビデオのディスクレーベルやディスクジャケットにはいろいろなマークが表記されています。これらのマークの意味を知っておくと、そのディスクがどのように記録されているかを読みとることができます。また、そのマークによって、本機で再生中に利用できる機能も異なります。

ここでは、DVD ビデオのディスクジャケットに表記されている主なマークをご紹介します。

DVD ビデオ (DVD-VIDEO) のディスクジャケットの例



1　ディスクに記録されている音声の数と種類・音声トラック方式を示しています（音声の切り換えは P.26,37 をご覧ください）。

上記の場合、テレビにつないでいるときには、英語・日本語共に通常のステレオ音声として再生しますが、ドルビーデジタル対応のアンプをデジタル音声出力につないでいるときには、英語の場合はドルビーサラウンドで、日本語の場合は 5.1 ch サラウンドで再生されます。

2　再生可能なテレビ画面サイズや見え方を示しています。

このディスクの場合、16：9の画面サイズの映像の左右が圧縮されて記録されており、テレビの種類に合わせて本機の設定を合わせておくと、シネマスコープサイズの映像を楽しむことができます (**P.36**)。

3　ディスクに記録されている字幕の数と言語などの種類を示しています (字幕の切り換えは P.27,37 をご覧ください)。

DVD ビデオでは最大 32 種類の字幕を記録することができます。

4　ディスクの地域番号 (リージョンナンバー) です。

DVD プレーヤーと DVD ビデオディスクには、発売地域ごとに地域番号 (リージョンナンバー) が設定されています。再生するディスクに記載された地域番号がプレーヤーに設定された番号を含まない場合、そのディスクを再生することはできません。本機 (日本向け) の再生可能地域番号は 2 番で、ディスクに記載された地域番号が 2 番を含むか「ALL」となっている場合に再生が可能です。

5　その他のマーク

舞台中継やスポーツ中継などでは、複数台のカメラで撮影している場合がほとんどです。DVD ビデオでは、最大 9 つのカメラアングルで撮影された映像を同時に収録することができます。このマークが付いた DVD ビデオでは、同一場面を複数のアングルから見て楽しむことができます (**P.25**)。

DVD ビデオに収録されている音声について

DVD ビデオの音声タイプは、「ドルビーデジタル」、「DTS」、「リニア PCM」の 3 つが現在主流となっています。

ドルビーデジタルとは

DVDの標準音声タイプのことです。モノラルやステレオで記録されているソフトもあれば、現在主流となっている 5.1 ch サラウンドで記録されているソフトもあります。ドルビーデジタル (5.1 ch サラウンド) で記録されているソフトとは、5 つのチャンネルの個別にそれぞれのシーンに合った音声が記録されていて、サブウーファーから出力される低音も記録されているソフトのことをいいます。本機をドルビーデジタル対応の AV アンプなどとデジタル接続してこのソフトを再生すると、臨場感あふれるマルチチャンネル再生をお楽しみいただくことができます。

- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTS とは

DTS とは DTS 社の 5.1 ch デジタル･サラウンド録音再生方式のことです。これは最新のサラウンド方式で、DVD ビデオのオプション音声タイプとして認められています。本機を DTS 対応の AV アンプなどとデジタル接続すると、DTS デジタル・サラウンドで記録された DVD ソフトも、ドルビーデジタル (5.1 ch サラウンド) で記録されているソフトと同様に 5.1 ch で音声を楽しむことができます。

DTS 96/24 とは

5.1 ch すべてを 96 kHz/24 bit の高音質で再生する最新のサラウンドフォーマットで、スタジオのマスター音源のクオリティを踏襲しています。DVD の限られた記録エリアで、高音質 / 高画質を両立させるために開発されました。本機は 96/24 に対応しているディスクの高音質をそのままアナログ出力できます。

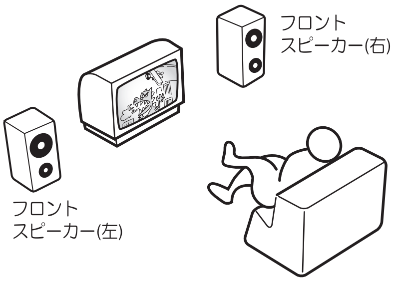
- “DTS” は、DTS 社の登録商標です。“DTS 96/24” は、DTS 社の商標です。

リニア PCM

音声の圧縮を行わない方式です。ミュージカルや音楽コンサートなどを収録した DVD ビデオの場合によく使われます。48 kHz/16 bit、96 kHz などの表示があることもあります。

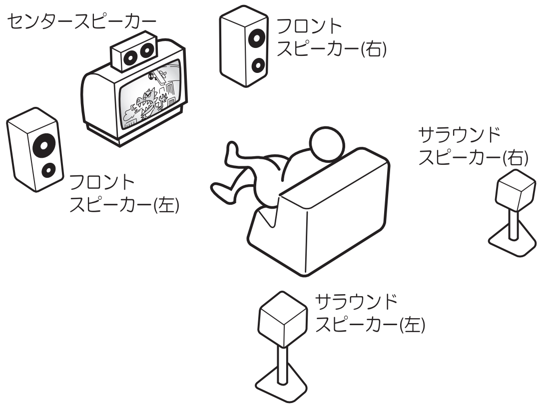
ステレオ再生とは

左右2つのスピーカーから別々の音声を再生することです。DVDビデオのステレオ音声や通常の音楽用 CD(ステレオ 2 ch で録音されています) は、5本のスピーカーとサブウーファーが接続されていても、音はフロントスピーカーからしか再生されません。



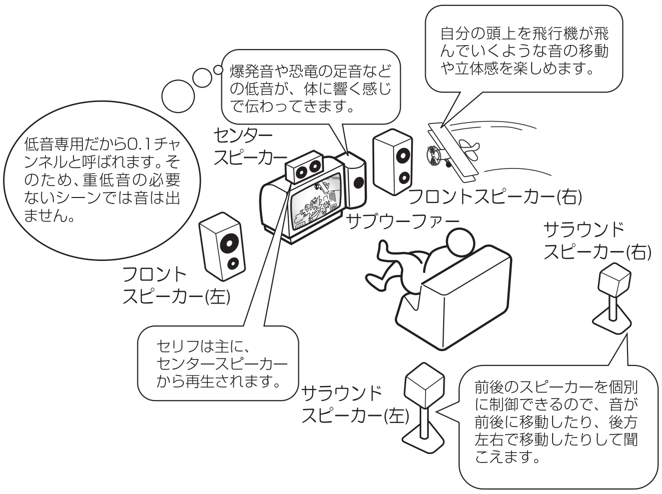
ドルビーサラウンド再生とは

ソフトのパッケージにドルビーサラウンド (DOLBY SURROUND) と表記されているソフトを、5 本のスピーカーで再生することです。ただし、サラウンドスピーカーは左右同じ音 (モノラル) で再生されます。



ドルビーデジタル 5.1 ch または DTS サラウンド再生とは

ドルビーデジタル (5.1 ch サラウンド) または DTS サラウンドで記録されているソフトを、5 本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ別々の音で再生することです。5.1 ch 独立で音声が記録されているため、立体感のある音場で臨場感あふれる音声が楽しめます。



用語解説

アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。従来サイズのテレビでは 4 : 3 ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは 16 : 9 の比率となっています。臨場感あふれる映像が楽しめるようになっています。

インターレース (飛び越し走査)

映像の 1 画面を半分ずつ 2 回に分けて描きます。最初に奇数番目の走査線を描き、目の残像を利用して、次に偶数番目の走査線を描いて 1 画面 (フレーム) を表示します。従来のテレビの走査方式として採用されています。通常、解像度の数字の後ろに「i」を付けて (525i など) 表記します。

映像出力 (コンポジット)

輝度信号 (Y) と色信号 (C) を混合して 1 本のコードで伝送できるようにした信号です。ただし、入力機器側で混合された輝度信号 (Y) と色信号 (C) を分離しなければなりません。この輝度信号 (Y) と色信号 (C) を分離するときの精度で画質の良さが決まります。

コンポーネント映像出力

Y、C_B/P_B、C_R/P_R の 3 つの信号からなり、コンポーネント入力付きのテレビと接続することにより、より美しい映像が得られる映像出力です。

視聴制限

暴力シーンなどを含む DVDビデオの中には、視聴制限のレベル(大小)が設けられたものがあります。ディスクのレベルよりも小さいレベルに本機の視聴制限レベルを設定すると、暗証番号を入力しないかぎり再生ができなくなります。

ダイナミックレンジ

ダイナミックレンジとは、ディスクに記録されている音声レベルの最大値と最小値の差異のことです。ダイナミックレンジは、デシベル (dB) 単位で測定されます。

ダイナミックレンジを圧縮する (オーディオ DRC) と、最小の信号レベルが上がり、最大の信号レベルが下がります。これにより、破裂音のような強い音声信号が低減される一方、人の声などの低いレベルの音声信号がはっきりと聞こえるようになります。

光デジタル出力

音声は通常、電気信号に変えて電線でプレーヤーからアンプなどの他の機器に伝達しますが、これをデジタル信号に変えて、光ファイバーで伝達できるようにしたものが光デジタル出力です (アンプなど、受け取り側は光デジタル入力になります)。

プレイバックコントロール（PBC）

ビデオ CD(バージョン 2.0) に記録されている、再生をコントロールするための信号です。PBC 付きビデオ CD に記録されているメニュー画面を使って、簡単な対話形式のディスクや検索機能のあるディスクの再生が楽しめます。また、高 / 標準解像度の静止画も楽しむことができます。

プログレッシブ (順次走査)

映像の 1 画面を 2 回に分けずに 1 画面ずつ描きます。特に静止画の文字やグラフィックス、横線などの多い画像で、チラツキを抑えた美しい画像を楽しめます。通常、解像度の数字の後ろに「p」を付けて (525pなど) 表記します。

ボーナスグループ

DVD オーディオでは、4 桁の番号 (キーナンバー) を入力することによってアクセス可能となる、「ボーナスグループ」とよばれるグループが存在するディスクがあります。ボーナスグループを再生しようとすると入力画面が自動的に現れるので、ディスクのパッケージやディスクジャケットに示してあるキーナンバーを入力すると再生が開始されます。

マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ていますので、画像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影した映像の1つを番組ディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っていますので、視聴者側で視点 (カメラ) を選ぶことはできません。DVD ビデオには、同時に複数のカメラで撮影したすべての映像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を自由に選ぶことができます。DVD ビデオではアングルを最大9つまで記録することができます。

マルチ音声言語

DVD ビデオの中には、1 枚のディスクの中に複数の音声を持っているものがあります。DVD ビデオでは音声を最大 8 言語 (8 ストリーム) まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチ字幕言語 (サブタイトル)

映画などでおなじみの字幕の言語です。DVD ビデオでは字幕の言語を最大 32 カ国語まで記録することができ、その中からお好きな言語を選んで楽しめる機能です。

マルチセッション

CD-R や CD-RW にデータを記録するとき、その記録の始めから記録の終わりまでをひとまとめにした単位をセッションといいます。マルチセッションとは、1 枚のディスクに2つ以上のセッションデータを記録する方法のことです。

リージョン No.

DVD プレーヤーと DVD ビデオディスクは発売地域ごとに地域番号 (リージョン No.) が設けられており、再生するディスクに記載されている番号にプレーヤーの地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機のリージョン No. は「2」です (本体後面部に表記されています)。

D 端子

デジタル放送に対応したテレビなどの機器に装備されている映像信号 (Y、C_B/P_B、C_R/P_R) と映像信号のフォーマットを識別する制御信号を1つのコネクタで接続する端子です。

DivX

DivX は、DivX, Inc. が開発したメディア技術です。DivX のメディアファイルには画像データが含まれます。また、DivX ファイルはメニューや複数の字幕、音声の切り換えといった高度な再生機能を付けることも可能です。

DSD

DSD は、(Direct Stream Digital) の略です。DSD 方式は音声信号の大小を1ビットのデジタルパルスの密度 (濃淡) で表現します。

DVD オーディオ / ビデオの静止画

DVD には、音声や動画だけでなく静止画が入っている場合があります。DVD オーディオの静止画には 2 種類あります。

スライドショーは、ディスクの設定に従って自動的に静止画が切り換わります。

ブラウザブル静止画は、プレーヤーの操作で好きな静止画を選択して再生することができます。また、ブラウザブル静止画では、その静止画の番号「ページ」を指定して見たい静止画を探すこともできます。なお、DVD ビデオの静止画はスライドショーのみです。

DVD ビデオフォーマット記録

市販の DVD ビデオディスクと同じ方式 (フォーマット) で DVD-R/-RW/-R DL ディスクに一筆書きのように記録することをいいます。 パイオニアの DVD レコーダーではこれをビデオモード記録といいます。 ビデオモードには、 高画質で録画するモードと、 長時間録画するモードがあります。

Exif

Exchangeable Image File Format の略でエグジフと読みます。富士フイルム (株式会社) が開発したデジタルスチルカメラ用のファイルフォーマットです (JEIDA 規格)。撮影日などの、撮影や画像に関する情報とサムネイル画像が収録できるように拡張されているファイルフォーマットです。

GUI

Graphical User Interface の略です。画面にメニューを表示し、それを操作することでより使いやすい環境を提供します。

HDMI

HDMIは、High-Definition　Multimedia Interface の略です。PC 用ディスプレイなどで使用されている DVI(Digital Video Interface) を拡張した、次世代テレビ向けのデジタルインターフェイス規格で、非圧縮のデジタル映像とデジタルオーディオ （ ドルビーデジタル、DTS、MPEG といったオーディオストリームやリニア PCM)、または DSD 音声の伝送が 1 つのコネクタで行えます。このため映像と音声を別々のケーブルで接続する必要がなく、小型のコネクタケーブル 1 本での接続が可能になりました。また著作権保護技術であるデジタル画像信号の暗号化方式である HDCP にも対応しています。

- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

JPEG

JPEG とは、 ITU-TS(国際電気通信連合 : 旧 CCITT) と ISO(国際標準化機構) で定められた、 写真やイラストなどの画像ファイルを保存する形式 (画像フォーマット ） のひとつです。 JPEG 形式の画像ファイルには「.jpg」 という拡張子がつきます。 デジタルカメラで撮った写真などもほとんど JPEG 形式で保存されています。

MP3

MP3 とは、MPEG1 オーディオレイヤー3 というファイル形式で圧縮した音楽データです。「.mp3」という拡張子の付いたファイルを MP3 ファイルと呼びます。拡張子とは、OS やアプリケーションソフトで管理されているファイルの種類を表す文字符号です。ピリオドと 3 文字のアルファベットで構成されています。

MPEG

Moving Picture Experts Groupの略でエムペグと読みます。これは動画音声圧縮方法の国際標準です。

DVD ビデオの映像やビデオ CD の映像 / 音声は、この方式で記録されています。DVD ビデオの中には、この方式でデジタル音声を圧縮して記録しているものもあります。

MPEG-4 AAC

AAC とは「Advanced Audio Coding」の略で、MPEG-2 および MPEG-4 で使用される音声圧縮技術に関する基本フォーマットです。

本機では、iTunes® を使用してエンコードされた、拡張子が「.m4a」の AAC ファイルの再生に対応しています。ただし、DRM コピープロテクト（著作権保護）のかかったファイルやエンコードする iTunes のバージョンによっては再生できないことがあります。

- iTunes は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

SACD

CD の規格をベースに、より多くのデータが記録された高音質ピュアオーディオ規格です。SACD には 1 層ディスク、2 層ディスクとハイブリッドディスクの 3 種類があります。ハイブリッドディスクは、SACD と CD の両方の構造を持ちあわせています。

VR モード (ビデオレコーディングフォーマット) 記録

映像、および音声信号を DVDレコーダーで DVD-R/-RW/-R DL ディスクの不特定な位置に即時書き込み * することをいいます。(* 即時書き込み＝パソコンでは、入力されたデータをすぐにハードディスク (リムーバブルメディア) に書き込まず、一度メモリーに記憶します。その後、CPU(OS) が順番を整理してハードディスクに書き込みます。これに対して、データが入力された順にハードディスクに書き込んでいくことを即時書き込みといいます。)

パイオニアの DVDレコーダーではこれをVR モード記録といいます。VR モードには、標準的な画質で録画するモードと、画質および録画時間を自由に設定して録画するモードがあります。

WMA

「Windows Media® Audio」の略で、米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。WMA データは、Windows Media® Player Ver.7、7.1、Windows Media® Player for Windows® XP、または Windows Media® Player 9 Series を使用してエンコードすることができます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正常に動作しないことがあります。

WMV

WMV とは、「Windows Media Video」の略で、米国 Microsoft Corporationによって開発された映像/音声圧縮技術です。本機は Windows Media® Player 9 Series でエンコードされた WMV9 ファイルに対応しています。拡張子「.wmv」の付いたファイル、および解像度が 720 × 480 ピクセルまでのファイルを再生できます。Advanced Profile には対応していません。また、DRM コピープロテクトのかかった WMV ファイルは再生できません。

3/2.1CH

3/2.1 はディスクに記録されているチャンネル数を表しています。

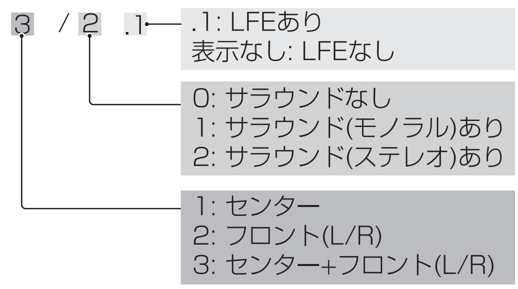
例）5.1CH の場合

- フロントチャンネル [L(1CH)/R(1CH)]
- センターチャンネル [(1CH)]
- サラウンドチャンネル [L(1CH)/R(1CH)]
- LFE[*1] チャンネル [1CH × 0.1[*2] = 0.1CH]

*1 重低音強調効果の意

*2 音声全体に対して低音が占める割合

GUI 画面には下記のように表示されます。



設置する場所

- 組み合わせて使用するテレビやステレオシステムの近くの安定した場所を選んでください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。

次のような場所は避けてください

- 直射日光のあたる所
- 湿気の多い所や風通しの悪い所
- 極端に暑い所や寒い所
- 振動のある所
- ホコリの多い所
- 油煙、蒸気、熱があたる所（台所など）

上に物を載せない

本機の上に物を載せないでください。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上に載せないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

本機を移動する場合

本機を移動する場合は、必ずディスクを取り出しディスクテーブルを閉じてください。さらに本体の ⏻ **STANDBY/ON ボタン** (またはリモコンの ⏻ **電源ボタン**) を押し、表示窓の **'-OFF-'** 表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

製品のお手入れについて

- 本体は通常、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は水で５～６倍に薄めた中性洗剤に柔らかい布を浸してよく絞り、汚れを拭き取ったあと乾いた布で拭いてください。
- アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤などが付着すると印刷、塗装などがはげることがありますのでご注意ください。また、ゴムやビニール製品を長時間触れさせることも、キャビネットを傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんなどをお使いの場合は、化学ぞうきんなどに添付の注意事項をよくお読みください。
- お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部 (動作部やレンズ) に水滴が付きます (結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて １ ～ ２ 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。
夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起こることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

初期化する

設定した内容をすべて出荷時の状態に戻すことができます (初期化)。初期化すると、記憶していたすべての設定が同時に消去されます。初期化する際は十分にご注意ください。

1 本機を待機 (スタンバイ) 状態にする。
- 電源が入っているときは、⏻ **STANDBY/ON ボタン**を押します。

2 ■ボタンを押しながら、⏻ STANDBY/ONボタンを押す。
- 設定した内容がすべて出荷時の状態に戻ります。

ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたまま、リモコン ▲ **開 / 閉ボタン**を押して、ディスクテーブルを開けないでください。ディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。

仕様

電源 . . . . .AC100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力. . . . . 14 W
待機時消費電力 . . . . .0.5 W
本体質量. . . . . .5.3 kg
外形寸法. . . . . . . 420 mm × 102 mm × 314 mm
(幅)×(高さ)×(奥行)
許容動作温度 . . . . ＋ 5 ℃～＋ 35 ℃
許容動作湿度 . . . . . . 5 %～ 85 %（結露のないこと）

S2 映像出力

Y 出力レベル . . . . 1 Vp-p（75 Ω）
C 出力レベル . . . . .286 mVp-p（75 Ω）
出力端子. . . . . S 端子

映像出力

出力レベル . . . . 1 Vp-p（75 Ω）
出力端子. . . . . .RCA 端子

コンポーネント映像出力（Y、C_B/P_B、C_R/P_R）

Y 出力レベル . . . . 1 Vp-p（75 Ω）
C_B/P_B、C_R/P_R 出力レベル . . . . . . 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子. . . . . .RCA 端子

D1/D2/D3/D4 映像出力（Y、C_B/P_B、C_R/P_R）

Y 出力レベル . . . . 1 Vp-p（75 Ω）
C_B/P_B、C_R/P_R 出力レベル . . . . . . 0.7 Vp-p（75 Ω）
出力端子. . . . . D 端子

HDMI 出力

出力端子. . . . . .19 ピン

音声出力 (2ch)

音声出力レベル . . . 200 mVrms(1 kHz、－ 20 dB)
出力端子. . . . . RCA 端子ステレオ 2 系統
周波数特性 . . . . 4 Hz ～ 44 kHz
S/N 比. . . . . 118 dB
ダイナミックレンジ . . . . 108 dB
全高調波歪率 . . . . .0.0010 %
ワウ・フラッター
. . . . . 測定限界以下 (± 0.001 %W.PEAK)(JAITA)

音声出力 (マルチチャンネル：フロント L/R、サラウンド L/R、センター、サブウーファー)

音声出力レベル . . . 200 mVrms(1 kHz、－ 20 dB)
出力端子. . . . . .RCA 端子

デジタル音声出力

光デジタル出力 . . . . 光デジタル端子
同軸デジタル出力. .RCA 端子

付属品

オーディオコード. 1
ビデオコード 1
電源コード. 1
リモコン. 1
単 3 形乾電池. 2
取扱説明書 (本書)・保証書 . . . . .各 1

本機の仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

修理に関するご質問、ご相談

裏表紙に記載の修理受付センター、またはお買い求めの販売店様にご相談ください。

保証書（別添）

保証書は必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで大切に保管してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

裏表紙に記載の修理受付センター、またはお買い求めの販売店様にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名 :DVD プレーヤー
- 型番：DV-800AV
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容
- 「いつ、どのくらいの頻度で、どのような操作（使用したディスクも）で、どうなる」といった詳細
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標 (建物・公園など)

保証期間中は

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本機では、画面表示にNECのフォント「Font Avenue」を使用しています。FontAvenue は NEC の登録商標です。

あ行

か行

さ行

た行

は行

ま行

ら行

わ行

アルファベット

数字

サービス拠点のご案内

サービス拠点への電話は、修理受付センターでお受けします。（沖縄県の方は沖縄サービスステーション）
また、認定店は不在の場合もございますので、持ち込みをご希望のお客様は修理受付センターにご確認ください。

●北海道地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆札幌サービスセンター	FAX　011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX　0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX　0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX　0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆仙台サービスセンター	FAX　022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX　023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX　024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX　019-659-1895	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX　017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX　0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野3-16-8
秋田サービス認定店	FAX　018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目346-1

●東京都内

受付　月～土　9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

世田谷サービスステーション	FAX　03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
北東京サービスステーション	FAX　03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX　042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1F

●関東・甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆千葉サービスセンター	FAX　043-207-2555	〒263-0014	千葉市稲毛区作草部町1369-1　椎の実ハイツ1F
松戸サービス認定店	FAX　047-340-5052	〒270-0021	松戸市小金原4-9-23
水戸サービス認定店	FAX　029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX　0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
☆埼玉サービスセンター	FAX　048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
川越サービス認定店	FAX　049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX　028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-1
群馬サービス認定店	FAX　0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX　025-374-5756	〒950-0982	新潟市堀之内南1-20-11
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX　0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆神奈川サービスセンター	FAX　045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜北サービス認定店	FAX　045-943-3155	〒224-0036	横浜市都筑区勝田南1-19-17
神奈川西サービス認定店	FAX　046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX　04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX　0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX　026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX　055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆名古屋サービスセンター	FAX　052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX　0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX　059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX　058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービス認定店	FAX　054-237-5691	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-6-5
沼津サービス認定店	FAX　055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX　053-422-1401	〒435-0042	浜松市篠ヶ瀬町415　ビラモデルナ5号
金沢サービス認定店	FAX　076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX　076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX　0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆大阪サービスセンター	FAX	06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
大阪南サービス認定店	FAX	0722-75-2625	〒593-8322	堺市西区津久野町1-8-15　ローズマンション1F
神戸サービス認定店	FAX	078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX	0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土4-2
和歌山サービス認定店	FAX	0734-46-3026	〒641-0021	和歌山市和歌浦東3-1-25
京都サービス認定店	FAX	075-352-2588	〒600-8322	京都市下京区西洞院通五条東南角小柳町513-2　五条久保田ビル1F
奈良サービス認定店	FAX	0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
福知山サービス認定店	FAX	0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国・四国地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆広島サービスセンター	FAX	082-248-9939	〒730-0041	広島市中区小町2-30　第二有楽ビル1F
岡山サービス認定店	FAX	086-244-8748	〒700-0975	岡山市今8-15-21
松江サービス認定店	FAX	0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX	0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX	0857-29-1290	〒680-0061	鳥取市立川町5-240-1
徳山サービス認定店	FAX	0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービスステーション	FAX	087-861-4841	〒760-0078	高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX	088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX	088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1F
松山サービス認定店	FAX	089-911-5608	〒791-8013	松山市山越5-12-8

●九州地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆福岡サービスセンター	FAX	092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX	093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX	092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
長崎サービス認定店	FAX	095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX	096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX	097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
鹿児島サービス認定店	FAX	099-201-3803	〒890-0046	鹿児島市西田3-8-24　サニーサイド21 1F
宮崎サービス認定店	FAX	0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1

●沖縄県

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

沖縄サービスステーション	TEL	098-879-1910	〒901-2113	浦添市大平2-2-6
	FAX	098-879-1352		

平成19年5月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

愛情点検

長年ご使用のオーディオ製品の点検をおすすめいたします。こんな症状はありませんか?

- **電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。**
- **電源コードにさけめやひび割れがある。**
- **電気が入ったり切れたりする。**
- **本体から異常な音、熱、臭いがする。**

⬇

故障や事故防止のため、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、『保証とアフターサービス』(P.59)をお読みのうえ、修理受付センター(裏表紙)に点検をご依頼ください。

K026_Ja

弊社ホームページにも本機の取り扱いについての Q&A を掲載していますので、あわせてご覧ください。

http://pioneer.jp/support/product/dvdld.html

<各窓口へのお問い合わせの時のご注意>
市外局番「0070」で始まるフリーフォン及び「0120」で始まるフリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーフォン）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

●家庭用オーディオ/ビジュアル商品　■0070－800－8181－22　■一般電話　03－5496－2986

■ファックス　03－3490－5718

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/
※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～19:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120－5－81028（ゴーハイオニア）　■一般電話　03－5496－2023

■ファックス　0120－5－81029

■インターネットホームページ　http://pioneer.jp/support/repair.html
※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話　098－879－1910

■ファックス　098－879－1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

■電話　0120－5－81095　■一般電話　0538－43－1161

■ファックス　0120－5－81096

平成19年5月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.023

J2K80301A SH 07/09 K

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<VRA1279-A>